

日時 令和8年5月3日(日・祝日)

午前8時30分開会式

会場 講道館

主催 特定非営利活動法人
全日本柔道普及会

柔道普及会

第五十回記念 柔道まつり大会



大会次第

- 選手集合
- 開会宣言
- 国歌吹奏
- 会長挨拶
- 来賓挨拶
- 優勝旗、優勝杯返還
- 試合上の注意
- 選手宣誓
- 試合
- 表彰
- 講評
- 閉会宣言

スポーツくじ



目 次

1	協賛者様・御礼				P. 1	
2	講道館使用上の注意				P. 2	
3	喫煙に関する注意事項				P. 3	
4	第50回記念 柔道まつり大会 役員				P. 4	
5	大会要項				P. 5 ~ 10	
6	試合会場図				P. 11	
7	試合進行予定表				P. 12	
8	道場 対 抗 試 合	少年の部	出場選手一覧			P. 13
9			リーグ表			P. 14
10		青年の部	出場選手一覧			P. 15
11			リーグ表			P. 16
12	少年 少 女 学 年 別 試 合 組 み 合 わ せ	小1	女子	男子	P. 17 ~ 18	
13		小2	女子	男子軽 男子重	P. 19 ~ 21	
14		小3	女子	男子軽 男子重	P. 22 ~ 24	
15		小4	女子	男子軽 男子重	P. 25 ~ 27	
16		小5	女子	男子軽 男子重	P. 28 ~ 30	
17		小6	女子	男子軽 男子重	P. 31 ~ 33	
18		中1	女子	男子	P. 34 ~ 35	
19		中2	女子	男子	P. 36 ~ 37	
20		中3	女子	男子	P. 38 ~ 39	
21	参加道場一覧				P. 40	
22	柔道まつり大会道場対抗試合 栄光の記録				P. 41 ~ 42	
23	第49回 成績表				P. 43	
24	「少年大会特別規定」(2024年4月1日から施行)				P. 44 ~ 45	
25	パウハラ・モラハラをなくそう!				P. 46 ~ 51	

協賛者様ご芳名

[公益財団法人 河野臨牀医学研究所](#)

品川区柔道会

[菅田町土田整形外科](#)

[船宿・屋形船 辰金 鈴木義夫](#)

[株式会社湘南電極](#)

[株式会社綾線](#) [武石接骨院](#) [とごしりハビリケアプランセンター](#) [川島 芳江](#)

[明武館柔道クラブ \(東京 品川区\)](#)

戸田市柔道会 会長 清水 義行

[斉藤接骨院](#)

明倫館杉崎道場 杉崎 彰彦

柔学塾 吉田 保

有限会社くーぼーる (クレープくれよん)

株式会社石井トロフィー

[東北柔専OB会東京支部](#)

[ひがしざわ接骨院](#)

多摩川柔道クラブ 倉部 豪

一道館田代道場 田代 学

目黒区柔道連盟 会長 市島大二郎

道友会

東日本柔道交流会 会長 菅谷俊雄

講道館高段者会

一心館菅谷道場 菅谷俊雄

自由学舎

順道館長瀬道場

[サンケンプラス株式会社](#)

[合同会社ジャパン・プライド](#)

向原柔道クラブ 市島 大二郎

鎌倉柔道協会 相田 良一

室田道場 室田 次朗

御礼 皆様のご支援ご協力に感謝申し上げます

特定非営利活動法人
全日本柔道普及会

理事長 梅津 勝子

役員一同

事務局 〒116-0014

東京都荒川区東日暮里5-39-12 ソーケン日暮里101

事務局長：大川 真一郎 携帯：090-4662-0555

講道館使用上の注意

・今大会はカラー柔道着採用の大会ではございませんので白(クリーム色)柔道着での参加をお願いします。また、講道館での稽古に際しても白(クリーム色)柔道着となっておりますのでご承知おきください。

・講道館での移動の際、裸足(はだし)で歩くところ、靴(くつ)を履いて歩くところの区別をきちんとしてください。

※靴は脱いたら各自で用意した袋(大会参加賞)に入れて持ち歩くなどし、自己管理を徹底すること。

・大会終了後、忘れ物が大変多くなっているので、注意してください。

講 道 館

特定非営利活動法人 全日本柔道普及会

喫煙に関する注意事項

講道館敷地内は全面禁煙です。

また、令和2年7月1日から、文京区内全域の屋外の公共の場所での喫煙は禁止されています(最大2万円の料金が科されます)。そして、余所様の敷地内で喫煙するなどはありません、もつてのほかです(住居侵入や器物損壊に問われる可能性もあります)。

講道館周辺で喫煙ができるのはシビックセンター1階屋外指定喫煙場所(春日1-16-21)のみです。第49回大会において、再三注意されたにも関わらず、指定場所以外での喫煙を繰り返した参加団体関係者(保護者含む)を確認しています。

第50回記念大会より、指定場所以外での喫煙が発覚した場合は、本人はもちろん所属している団体の全員を即時、退場と致します。付き添いの保護者が違反した場合でも、団体全体の責任とし、試合中であっても中断し不戦敗とします。

喫煙される方は『大人』であるはずです。法令・条例・ルールを守ってください。

喫煙所案内図



第50回記念 柔道まつり大会 役員

大会顧問	横山 孝 大輪小次	石原宏高 桜井敦子	大山愿太 川崎喜一郎	鈴木むつ子 河野暎子	清水勝一	大山廉平	永井昭次
大会会長	梅津勝子						
大会副会長	外川 朗	河野文彦	大川真一郎	小林速人			
大会委員長	東澤武彦						
大会副委員長	藤嶋巧鮮	平澤武夫					
大会本部委員	佐藤光男 猪田裕昭	小塚義隆	近藤眞雪	住田治高	吉田 保	菅野光雄	吉田康行
大会委員	菅谷俊雄 小濱太郎 万代勝久	小野博道 近内圭太郎	斉藤勝紀 山岸和重	後藤竜二 三輪智久	石田雅明 渡辺啓友	内海まゆみ 綿引 徹	須賀 剛 庄司武男
大会参与	白鳥 学	三瓶弘角					
受付係	宇佐見竜平	大野修平	吉田有寿	宇佐見佳子	東澤雪子		
会計係	大川真一郎						
式典係	外川 朗	宇佐見佳子	東澤雪子	三瓶弘角	安藤典子		
賞状係	三神正洋	波多野和敬	阿部宮子	田中慎也	東澤史佳		
放送係	佐藤光男	加藤泰輔					
写真係	柳原 徹	坂根克人	本田節子				
太鼓係	森下北斗						
救護係	大川真一郎	外川 朗	松浦直子				
会場警備係	渡辺啓友 猪田裕昭	宇佐見竜平 菅野光雄	大野修平 竹下怜奈	吉田有寿 草鹿裕子	東澤武彦	大川真一郎	吉田 保

【 試合場係 】

統括責任者	藤嶋巧鮮 (第一試合場)	住田治高 (第二試合場)	内海まゆみ (第三試合場)	角田希代美 (第四試合場)			
○印は試合場責任者							
第一試合場	○ 前田城治 古谷政一	綿引 徹	梅田信昭	平井幸雄	山本昇鯉	櫻井 忍	萩野谷修一郎
第二試合場	○ 下村貴則 仁平優羽姫	安田貴浩	白熊友香里	内藤純子	仁平美由姫	原 一史	柴崎 舞
第三試合場	○ 大森直樹 鈴木利康	山本奈津子	持溝啓太	大西宏治	反中江梨子	新垣オマル	片倉嘉希
第四試合場	○ 白鳥 学	堀 篤司	川戸 円	古都愛海	渡辺正樹	奥野賢一郎	細野銀河

【 審判員 】

審判長	河野文彦						
統括責任者	小林速人 (第一試合場)	平澤武夫 (第二試合場)	小塚義隆 (第三試合場)	三輪智久 (第四試合場)			
○印は試合場責任者							
第一試合場	○ 吉田惟人 杉本将一朗	古田秀州	松澤蕉市	太田竜聖	森下北斗	長澤大雅	石間勇斗
第二試合場	○ 須賀 剛	辻 湧斗	山下魁輝	平山才稀	空 康次郎	村上光志	青木竜也
第三試合場	○ 芝 明朗 本田慎平	佐藤 城	湯本祥真	重松 弥真斗	藤永龍太郎	西原大史	工藤海人
第四試合場	○ 庄司武男	山岸和重	万代勝久	千品洋一	原 伸之介	久野ふくみ	仁平正洋

大会要項

1. 目的

特定非営利活動法人全日本柔道普及会は、講道館柔道を愛好する者を主体に柔道を普及育成し青少年の体力向上と健全育成及び柔道精神の涵養に資し、もって社会文化の進展と国際親善に寄与することを目的とする。

2. 主催

特定非営利活動法人 全日本柔道普及会

3. 日時

5月3日（祝日）

午前8時15分開場 午前9時開会

午後5時閉会（予定）

4. 会場

講道館7階大道場

〒112-0003

東京都文京区春日1-16-30 TEL:03-3811-7151

5. 参加資格と試合種目

（1）参加資格

所属する道場（団体）が全日本柔道普及会の道場会員であること。

（2）試合種目

ア 少年少女学年別試合（個人戦）

① 小学1年生の部（男女別）

② 小学2年生の部（男女別）

③ 小学3年生の部（男女別）

④ 小学4年生の部（男女別）

⑤ 小学5年生の部（男女別）

⑥ 小学6年生の部（男女別）

⑦ 中学1年生の部（男女別）

⑧ 中学2年生の部（男女別）

⑨ 中学3年生の部（男女別）

※少年少女学年別試合（個人戦）は、大会事務局において参加申込書を参考にして、男女別、軽量・重量の部に区分する。学年が統合、また男女混合のトーナメントになる場合もある。

※選手全員の計量は各試合会場にて行う。その際、申告体重より3kgを超えた場合は失格とする。

※各学年は、5月3日現在の学年とする。

※同道場同士で体重の近い選手が3名以上参加する場合、初戦から対戦となる場合もある。

イ 道場対抗試合（団体戦）

少年の部・青年の部とも、参加チーム数の制限は設けない。

① 少年の部 監督・小学4・5・6年生の各1名の計4名

※該当学年者がいない場合は、下位学年で補うことができる。

※参加チームが複数にわたる場合、事務局において参加チームの過去の実績を参考にして1部・2部に区分することがある。

② 青年の部 監督1名、選手3名 [先鋒（女子）・中堅（男子）・大将（男子）段位制限なし]、補欠2（男女各1名）名の計5名

※当該女子選手、男子選手がいない場合でも欠員のまま出場はできる。但しその場合、当該試合は不戦敗となる。

※毎試合ごと選手の変更可能。

※毎試合ごとにオーダー提出をする。

（3）団体戦の出場資格

合同チームで出場する場合は3所属以内の門人で構成する。ただし、大会委員長の許可を得ればこの限りではない。

6. 試合方法

（1）少年少女学年別試合（個人戦）はトーナメント戦とする。

（2）道場対抗試合（団体戦）はトーナメントまたはリーグ戦とする。

（3）道場対抗試合は、原則として各チーム3人制の点取り対抗戦とし、勝ち数の多いチー

ムを勝ちとする。勝ち数が同等の場合は内容によるものとし、内容も同じ場合は代表戦を行う。

7. 審判規定

(1) 国際柔道連盟試合審判規定・国内における「少年大会特別規則(2023年12月8日改正2024年4月1日施行)」によって行う。

(2) 試合時間は、中学生以下は2分とする。道場対抗試合青年の部は3分とする。

(3) 優勢勝ちの判定基準

①「有効」「技あり」「指導の差2」「僅差」、抑え込みは20秒で「一本」10秒「技あり」5秒「有効」とする。

②時間内に勝敗がつかない場合は、判定とする。「団体戦は引き分けあり」

③団体戦で同点の場合は、引き分けをした選手同士で代表戦を行う。引き分けが複数の場合は任意で選出し、決着がつかない場合は判定とする。

8. 表彰

下記の通り、表彰する。

(1) 少年少女学年別試合(軽量級・重量級)の各優勝から第3位(2名)迄

(2) 団体戦各優勝から第3位迄

※1部・2部に区分された場合は各部優勝から第3位迄。なお、チーム数によっては第3位を2チーム表彰する場合もある。

9. 参加申込

(1) 申込締切 3月15日23時59分

(2) 申込方法 全日本柔道普及会のHPからパソコンによる申し込みのみ。参加費は各道場でとりまとめ、申し込み時に『道場会員年会費』『参加費』『協賛金(協賛する場合)』『弁当代金(注文する場合)』を一括して下記に振り込む。

■振込先■

三菱UFJ銀行 品川駅前支店 (普通) 1698113

特定非営利活動法人 全日本柔道普及会

(3) 参加費用 選手一人について

一般の部・道場対抗青年の部出場者 2500円 (ただし高校生は2000円)

中学生以下 2000円

(4) 申込先 特定非営利活動法人 全日本柔道普及会柔道まつり大会事務局

10. 組み合わせ

申込締切後、大会主催者が行う。

※抽選後インターネットで掲載するとともに、参加申込みに使用されたアドレスへ掲載完了のメールを配信する。

11. 保険

(1) 主催者は参加者全員に対して傷害保険の加入手続きを行い、その費用を負担する。
なお、参加選手は、大会出場にあたり事前に医師の健康診断を受けて、試合に出場するについて支障がないことを確認しておくこと。

(2) 主催者は大会中の不慮の負傷・疾病については応急処置を施すとともに、傷害保険の補償範囲内で責任を負うものとする。(通院1日につき1,500円、入院1日につき3,000円)

(3) 大会当日、出場選手は健康保険証を必ず持参すること。

12. その他

(1) 少年少女学年別試合の出場選手変更は原則として認めない。

(2) 道場対抗試合の選手変更は原則として認めない。

ただし、突発的事故(負傷、病気等)の場合は、大会前日午後3時までに事務局へ電話連絡すること。

大川事務局長 TEL090-4662-0555

当日事故等によって出場できなくなった場合は欠員のままとする。

(3) ゼッケン

- ① 出場選手は、着用する柔道衣に規定の大きさのゼッケンを正しく縫い付けること。
- ② ゼッケンを付けていない選手は、失格とする。ただし、試合中に取れた場合は、原則として次の試合までに縫い付けること。
- ③ サイズは、横30cm±3cm・縦22cm±3cmとし、布地は白色(晒・太綾)とする。
- ④ 書体は太いゴシック体又は明朝体で横書きとし、男子は黒色、女子は濃赤色とする。
- ⑤ 苗字(姓)は上側2/3、所属名は下側1/3 とする。所属名は原則として所属道場名とするが、所属道場名以外とする場合は通学中の学校名のみ認めるので申込書の道場名に並べて()で明記して届け出ること。
- ⑥ 縫い付けの位置は、後ろ襟から10cm下部とし、周囲と対角線に強い糸で縫い付けること。

(4) 審判会議は午前8時20分から第3試合場で行う。

(5) 試合会場には、選手・大会役員(協賛者等関係者含む)・道場主・監督以外は入れない。

大会役員(協賛者等関係者含む)・道場主・監督には受付で入場証を渡すので必ず首から提げなど見えるところに携帯すること。

(6) 選手及び関係者は、道場と外部を裸足で出入りしないこと。

(7) 8階観覧席や屋上等から外部に物を投げないこと。行為者の所属団体(会員)は除名対象とするので、道場主は指導を徹底すること。

(8) 参加団体の道場旗等の設置は、道場窓側周囲のみに先着順とし、節度をもって行うこと。尚、8階観覧席手摺周囲に設置することは禁止する。

(9) お願い等

- ① お弁当を申し込まれた方は、空箱を所定の場所(8階エレベーター前)に午後2時までに片付けてください。それ以外はお持ち帰りください。
- ② 会費を下記にお振込みください。
道場会員並びに本会役員10,000円、個人会員5,000円
■振込先■
三菱UFJ銀行 品川駅前支店 (普通)1698113
特定非営利活動法人 全日本柔道普及会
- ③ 本会に入会を希望する方は、事務局にご連絡下さい。

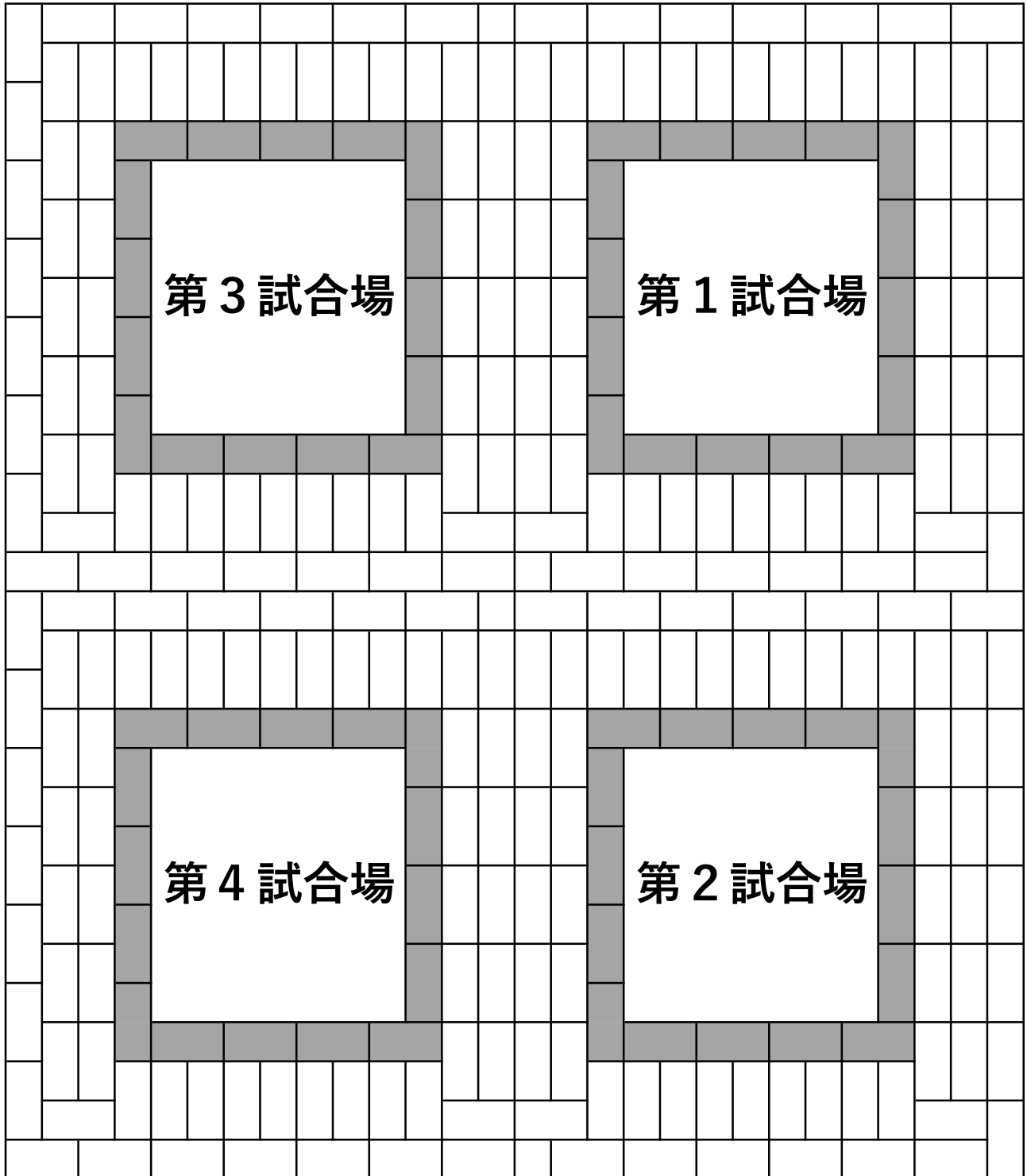
(10) 個人情報、肖像権の取り扱いについて

参加申込用紙に記載された個人情報、大会中に撮影された写真、動画が大会プログラム、大会ホームページに掲載される場合があります。また、その他報道機関等により、新聞、雑誌、テレビおよび関連ホームページ等に公開される場合があります。提出された個人情報については、上記目的以外に使用することはありません。参加申込みにより、上記取り扱いについての承諾をいただいたものとして対応させていただきます。

以上

試合会場図

正面



— 出入口 —

試合進行予定表

	第一試合場	第二試合場	第三試合場	第四試合場
8:30	開 会 式 (30)			
9:00	道場対抗試合 少年の部[1] 10試合(45) (9:45)	道場対抗試合 少年の部[2] 6試合(30)(9:30)	道場対抗試合 少年の部[3] 6試合(30)(9:30)	道場対抗試合 少年の部[4] 6試合(30)(9:30)
	道場対抗試合 青年の部[1] 6試合(35) (10:20)	道場対抗試合 青年の部[2] 3試合(20)(9:50)	道場対抗試合 青年の部[3] 3試合(20)(9:50)	道場対抗試合 青年の部[4] 3試合(20)(9:50)
10:00	道場対抗試合 少年の部決勝 3試合(20)(10:40)	小1男子 20試合(40) (10:30)	小1女子 14試合(30) (10:20)	小2男子軽 22試合(45) (10:35)
	道場対抗試合 青年の部決勝 3試合(30)(11:10)	小3男子軽 22試合(45) (11:15)	小2女子 19試合(40) (11:00)	小2男子重 21試合(45) (11:20)
11:00	小4男子軽 28試合(60) (12:10)	小3男子重 25試合(50) (12:05)	小3女子 20試合(40) (11:40)	小5男子軽 25試合(50) (12:10)
	小4男子重 31試合(60) (13:10)	小6男子軽 35試合(70) (13:15)	小4女子 27試合(55) (12:35)	小5男子重 26試合(50) (13:00)
12:00	中1男子 34試合(70) (14:20)	小6男子重 33試合(65) (14:20)	小5女子 27試合(55) (13:30)	中2男子 25試合(50) (13:50)
	中1女子 14試合(30) (14:50)	中2女子 15試合(30) (14:50)	小6女子 28試合(55) (14:25)	中3男子 29試合(60) (14:50)
13:00			中3女子 18試合(35) (15:00)	
14:00	調 整			
15:00	表彰式・閉会式			

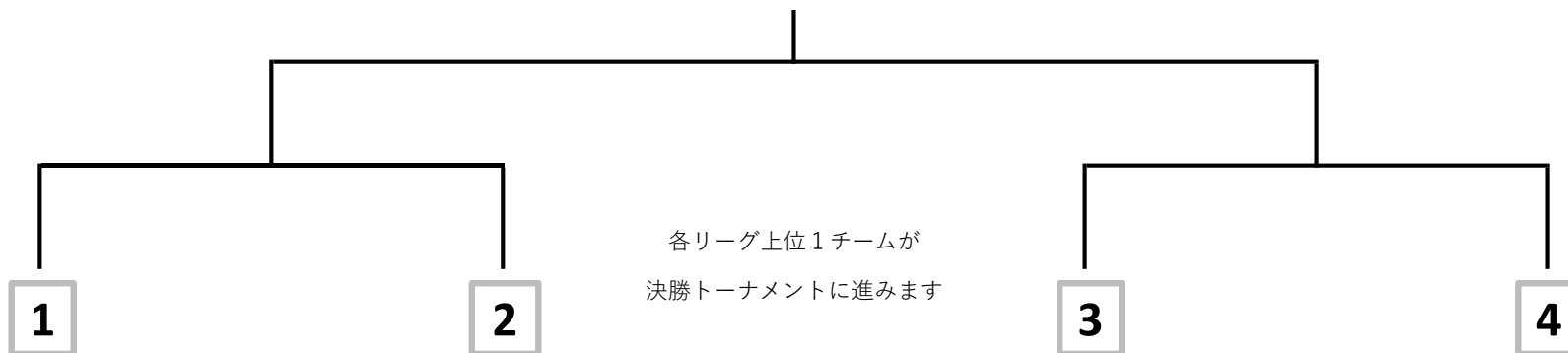
- 注) 1 棄権する選手のいるチームは、当日の受付時にまとめて届け出てください。
 2 各試合場の次3試合までの選手は、所定の待機席で試合に備えてください。
 3 試合の呼び出しを受けて、2分以内に試合場に登場しない選手は棄権とします。
 4 進行予定表は目安です。試合場が変更になる場合は放送等で連絡いたします。

第50回記念柔道まつり大会

道場対抗試合-少年の部- 出場選手一覧

道場名	監督名	先 鋒	中 堅	大 将
1 寒川柔友会 A (神奈川県)	三谷 健	相馬 唯人(ソウマ ユイト)	綾部 和心(アヤベ ワコ)	朝岡 稜喜(アサオカ イズキ)
2 寒川柔友会 B (神奈川県)	三谷 健	平澤 滯(ヒラサワ レイ)	露木 天翔(ツユキ ハルト)	相馬 悠人(ソウマ ハルト)
3 寒川柔友会 C (神奈川県)	三谷 健	菊地 杏咲(キクチ イッサ)	二階堂 瑠愛(ニカイドウ ルア)	佐藤 陽奈(サトウ ヒナ)
4 宝塚柔道教室 A (兵庫県)	日沼 雄也	橋本 陸(ハシモト リク)	光國 天晴(ミツクニ タカハル)	西尾 勇哉(ニシオ ユウヤ)
5 宝塚柔道教室 B (兵庫県)	日沼 雄也	日沼 翔(ヒヌマ ショウ)	西尾 信吾(ニシオ シンゴ)	×
6 須賀川市石背柔道スポーツ少年団 (福島県)	菅家 大輝	菅家 陽輝(カンケ アサヒ)	高橋 綾太(タカハシ リント)	笹谷 京史(ササヤ ケイジ)
7 調布市柔道連盟 (東京都)	森田 豪士	野澤 道晨(ノザワ ミチトキ)	魚谷 悠真(ウオタニ ユウマ)	萩原 彩乃(ハギワラ アヤノ)
8 自由学舎 (東京都)	中里 浩	佐野 聖(サノ セナ)	小嶋 美桜乃(コジマ ミオノ)	品川 理輝(シナガワ リキ)
9 五十嵐道場 A (埼玉県)	青田 和幸	木下 翔三朗 (キノシタ ショウザブロウ)	新井 栞子(アライ ニコ)	加藤 虎士(カトウトラジ)
10 五十嵐道場 B (埼玉県)	青田 和幸	雨宮 愛和(アメノミヤ アイト)	宮 瑛太(ミヤ エイタ)	田邊 香澄(タナベ カスミ)
11 五十嵐道場 C (埼玉県)	青田 和幸	坂本 真牙(サカモト マナト)	増田 紬樹(マスダ ツムギ)	栗崎 彩那(クリサキ アヤナ)
12 八王子柔道クラブ (東京都)	井上 貴史	山崎 乃楓(ヤマザキ ナオ)	東川 実緒(ヒガシガワ ミオ)	大野 愛梨(オオノ アイリ)
13 深川錬磨会 (東京都)	新堀 英男	古川 とわ(フルカワ トワ)	新堀 栄瑛(シンボリ サカエ)	飯田 悠太(イイダ ユウタ)
14 木更津柔道クラブ (千葉県)	鹿子 浩一	森 律希(モリ リツキ)	三浦 清節(ミウラ セツ)	三浦 悠生(ミウラ ハルキ)
15 あだち柔道クラブ (東京都)	北里 隆幸	北里 和義(キタザト カズヨシ)	野村 寅次郎(ノムラトラジロウ)	平 まほろ(タイラ マホロ)
16 遠藤道場 (神奈川県)	長谷川 陽生	澤田 翔太(サワダ ショウタ)	山本 瑠勝(ヤマモト リュウショウ)	佐藤 蒼亮(サトウ ソウスケ)
17 小岩警察署少年柔道部 (東京都)	中井 拓	白鳥 楓果(シラトリ フウカ)	増田 羽美(マスダ ウミ)	増田 唯人(マスダ ユイト)

道場対抗試合（少年の部）



1	深川	五十嵐B	寒川A	調布	木更津	勝敗	順位
深川						-	
五十嵐B						-	
寒川A						-	
調布						-	
木更津						-	

2	寒川C	宝塚B	自由学舎	石背	勝敗	順位
寒川C					-	
宝塚B					-	
自由学舎					-	
石背					-	

3	宝塚A	五十嵐C	八王子	あだち	勝敗	順位
宝塚A					-	
五十嵐C					-	
八王子					-	
あだち					-	

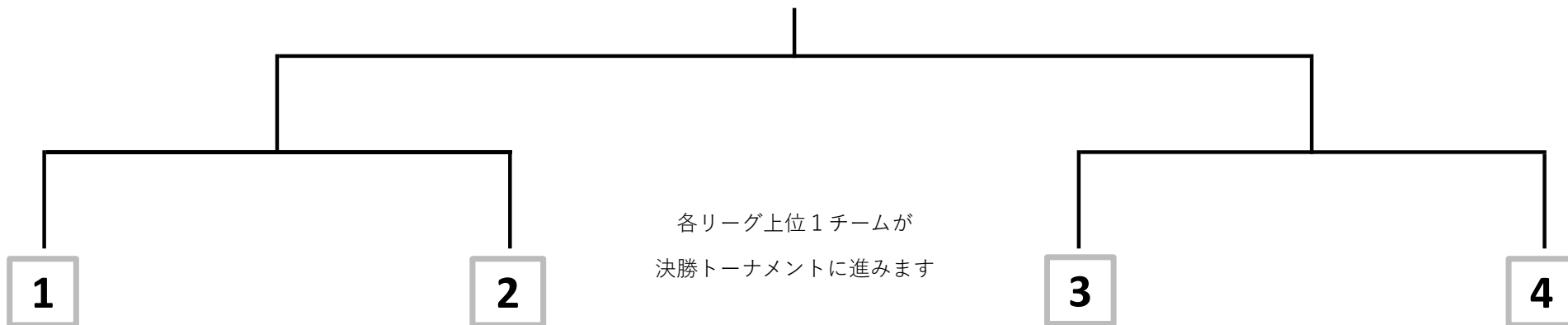
4	遠藤	寒川B	五十嵐A	小岩	勝敗	順位
遠藤					-	
寒川B					-	
五十嵐A					-	
小岩					-	

第50回記念柔道まつり大会

道場対抗試合-青年の部- 出場選手一覧

道場名	監督名	先鋒(女子)	中堅	大将	補欠(男子)	補欠(女子)
1 多摩川柔道クラブ(東京都)	倉部 豪	溝内 麻美 (ミゾウチ アサミ)	和田 勇樹 (ワタ ユウキ)	奥谷 貴昭 (オクタニ タカアキ)		
2 流山市柔道会(千葉県)	仲秋 貞博	遠藤 美月 (エンドウ ミヅキ)	中田 裕貴 (ナカタ ユウキ)	伊藤 勇輝 (イトウ ユウキ)	田口 暁尋 (タグチ アキヒロ)	
3 須賀川市石背柔道スポーツ少年団 (福島県)	白瀬 雄太郎	熊谷 美咲 (クマガイ ミサキ)	熊谷 幸喜 (クマガイ コウキ)	石川 唯人 (イシカワ ユイト)		
4 調布市柔道連盟(東京都)	温井 健太	熊澤 莉愛 (クマザワ リア)	池田 都和 (イケダ トワ)	越田 俊介 (コシダ シュンスケ)	上村 拓也 (カミムラ タクヤ)	
5 大宮立志塾(埼玉県)	長谷川 淳	西尾 京香 (ニシオ キョウカ)	嵐田 空良 (シマダ ソラ)	森 和貴 (モリ カズキ)		森 真衣 (モリ マイ)
6 無心塾飯島道場(茨城県)	野口 裕司	関野 華菜 (セキノ ハナ)	杉山 慎吾 (スギヤマ シンゴ)	小沼 立生 (オノマリ ユウセイ)	片淵 充紀 (カタブチ ミツノリ)	関野 純菜 (セキノ ジュンナ)
7 明倫館杉崎道場(千葉県)	熊倉 裕介	粕谷 優姫 (カサヤ ユウキ)	岩井 裕樹 (イワイ ヒロキ)	小早志 一晶 (コハヤシ カズアキ)		
8 横浜医療専門学校(神奈川県)	小野 博道	石井 万絢 (イシイ マアヤ)	前田 雄真 (マエダ ユウマ)	荻窪 翔 (オギクボ ツバサ)	八木 健太 (ヤギケンタ)	
9 あだち柔道クラブ A(東京都)	内田 龍二	杉浦 侑紀 (スギウラ ユキ)	林 龍広 (ハヤシ タツヒロ)	佐藤 直和 (サトウ ナオカズ)		
10 あだち柔道クラブ B(東京都)	内田 龍二	伊東 加那 (イトウ カナ)	檜垣 羽奏 (ヒガキ ハネル)	檜垣 羽詞 (ヒガキ ハズム)		
11 明武館柔道クラブ(東京都)	新田 賢司	前場 萌那江 (マエバ メナエ)	千田 大介 (チダ ダイスケ)	×		
12 水戸市内原柔道スポーツ少年団 (茨城県)	河内 忠文	高橋 初音 (タカハシ ハツネ)	田所 七斗 (タドコロ ナナト)	平本 心太郎 (ヒラモト シンタロウ)		
13 力善柔道クラブ(茨城県)	竹原 一弘	山田 真紀子 (ヤマダ マキコ)	竹村 彰太 (タケムラ ショウタ)	安田 孝也 (ヤスダ タカヤ)		

道場対抗試合（青年の部）



1	あだちA	横浜医	多摩川	力善	勝敗	順位
あだちA					-	
横浜医					-	
多摩川					-	
力善					-	

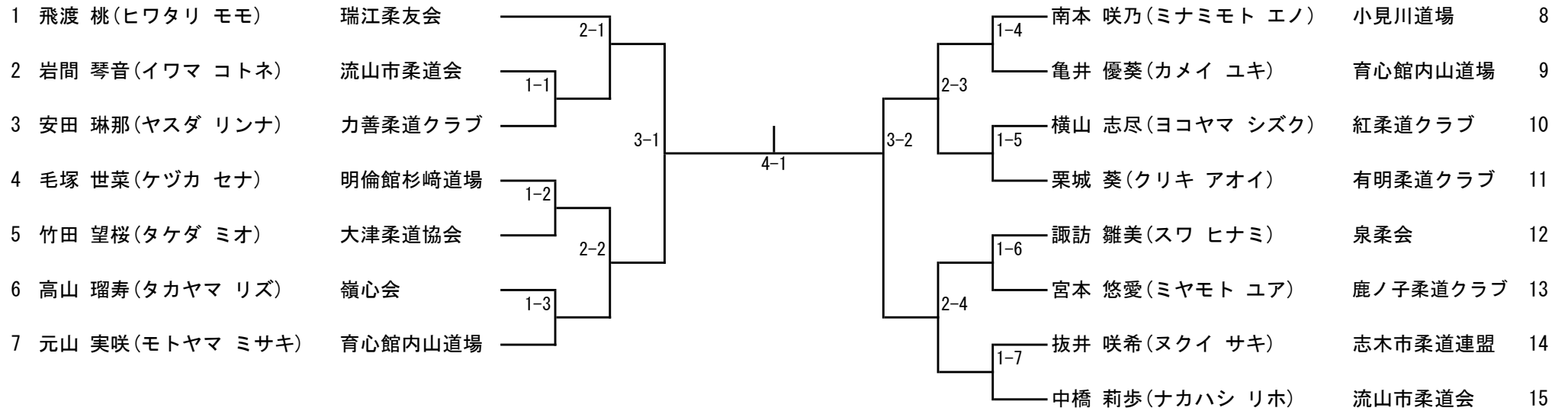
2	調布	明倫館	水戸	勝敗	順位
調布				-	
明倫館				-	
水戸				-	

3	無心塾	あだちB	流山	勝敗	順位
無心塾				-	
あだちB				-	
流山				-	

4	立志塾	明武館	石背	勝敗	順位
立志塾				-	
明武館				-	
石背				-	

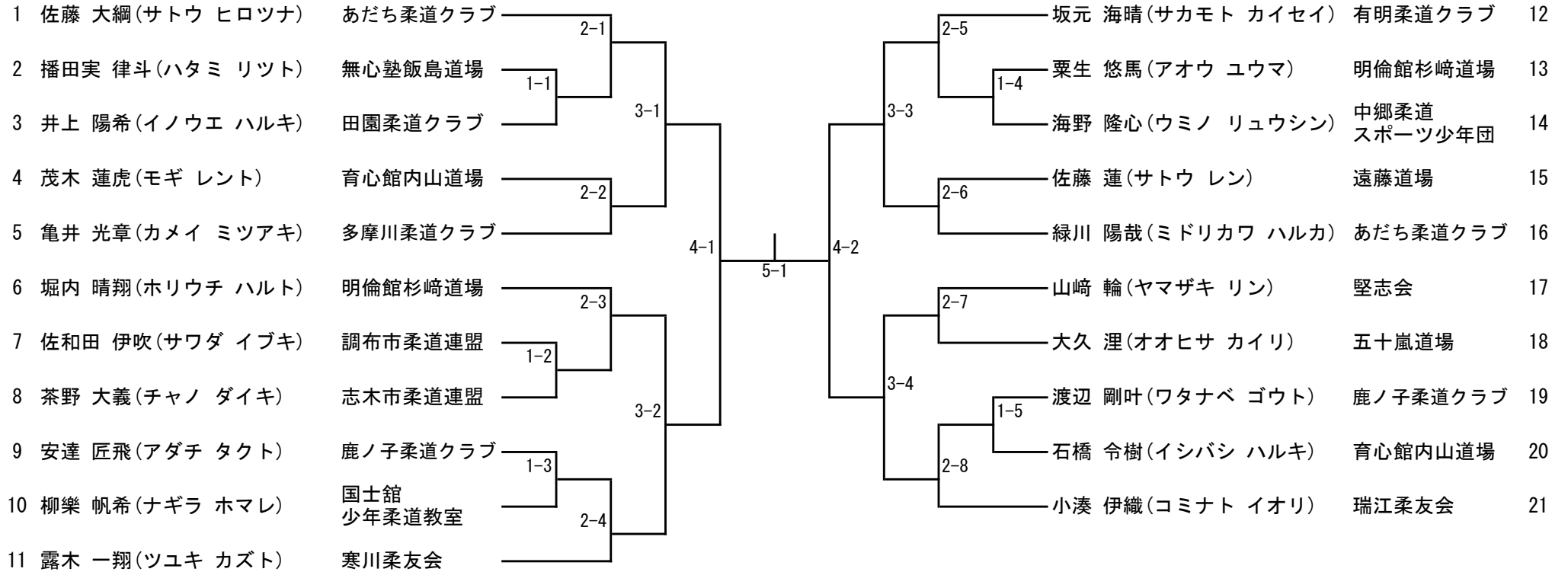
第三試合場

小学1年生女子の部



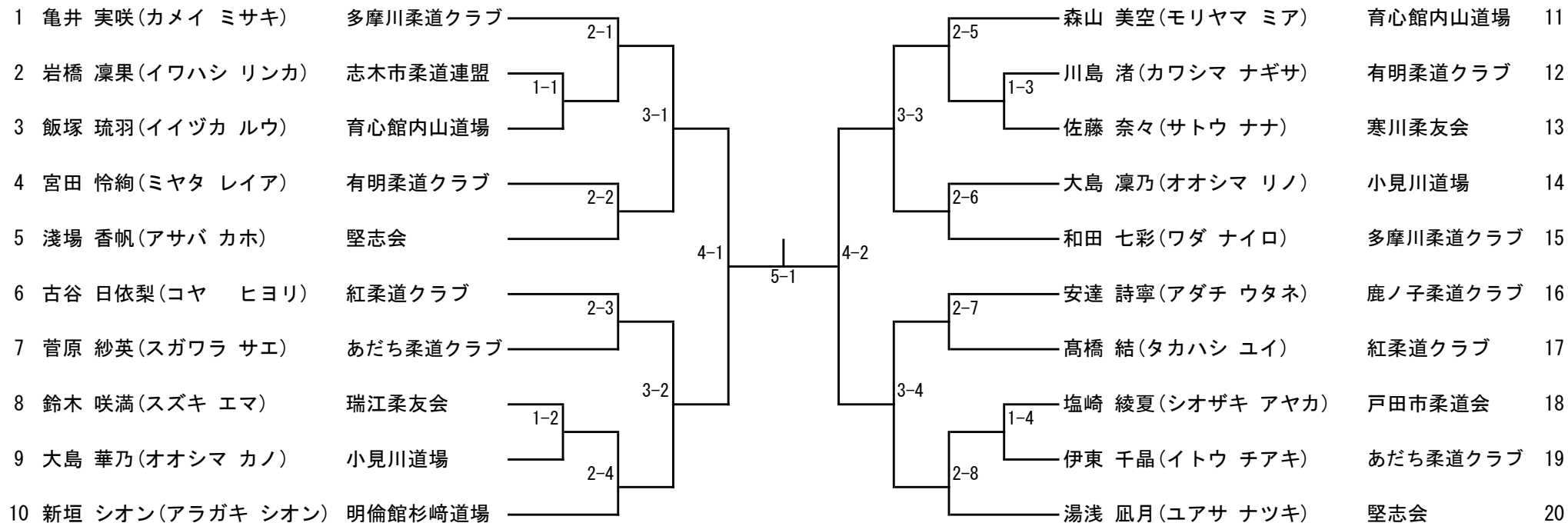
第二試合場

小学1年生男子の部



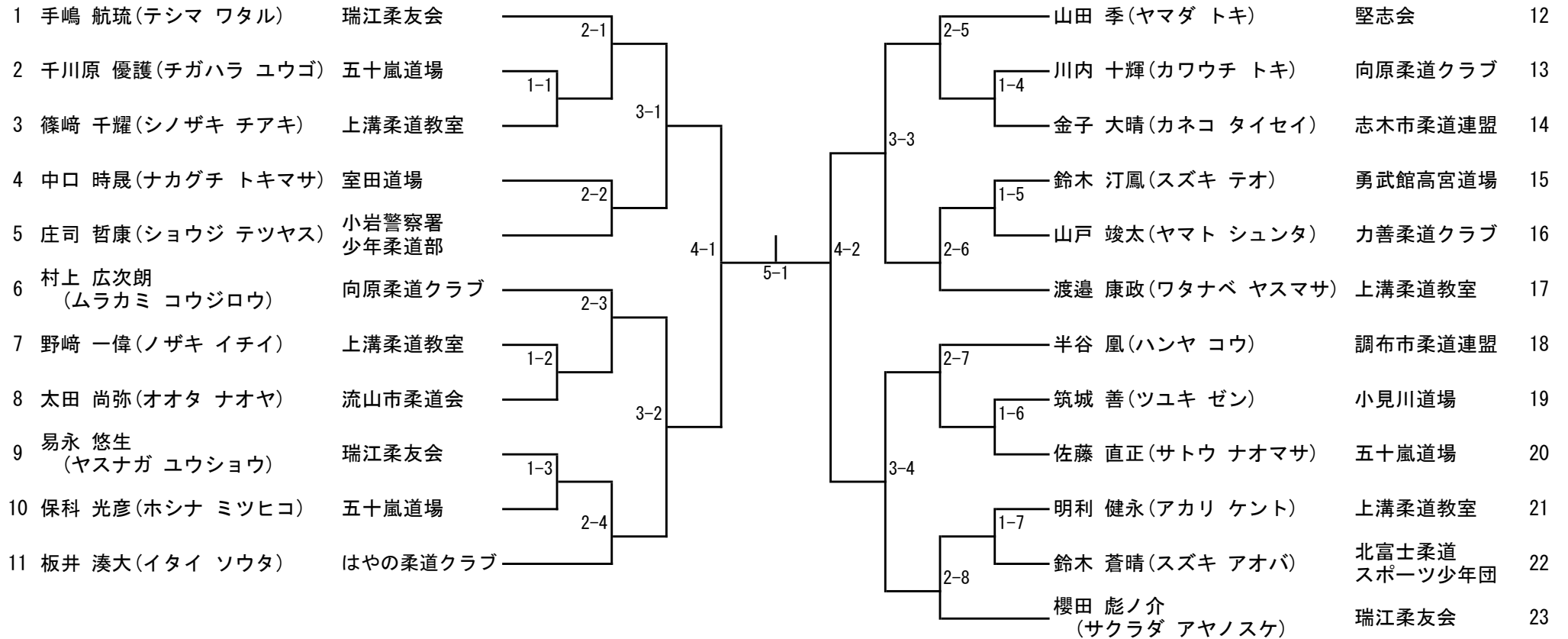
第三試合場

小学2年生女子の部



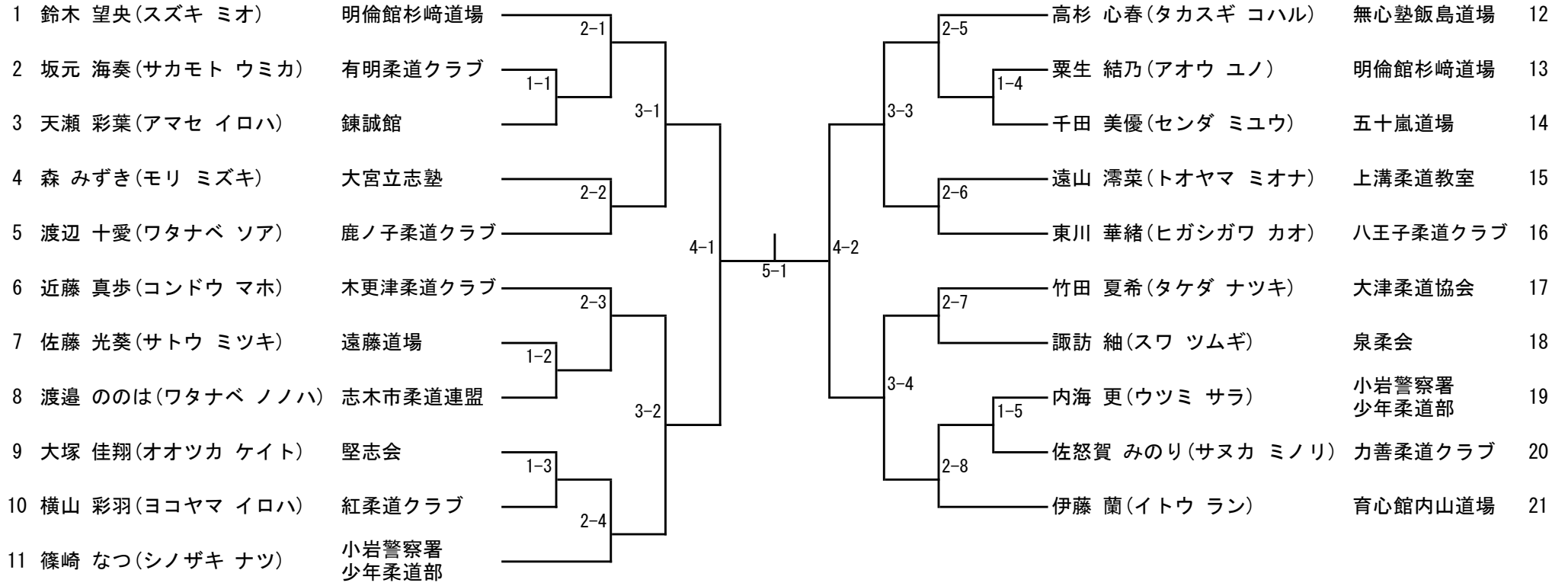
第四試合場

小学2年生男子軽量の部 26.5kg未満



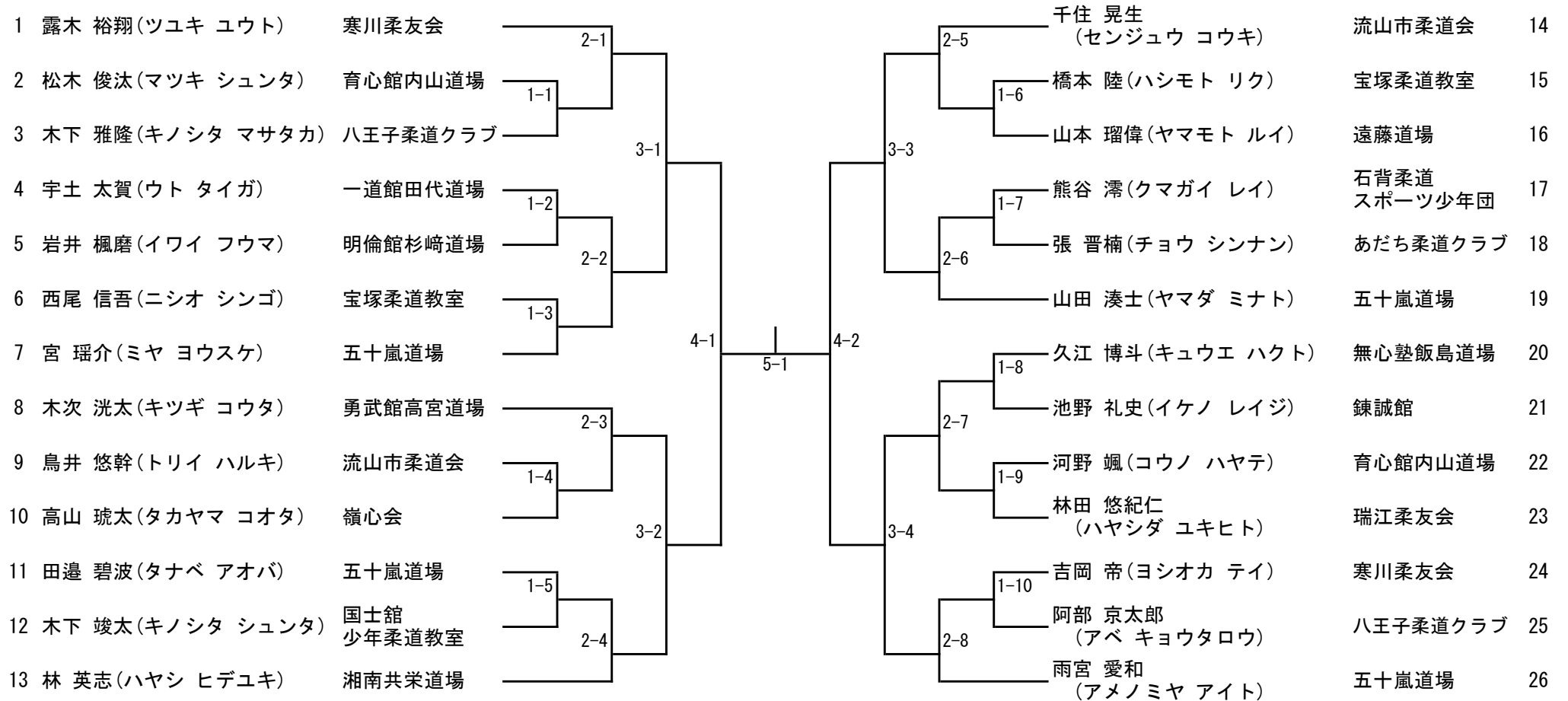
第三試合場

小学3年生女子の部



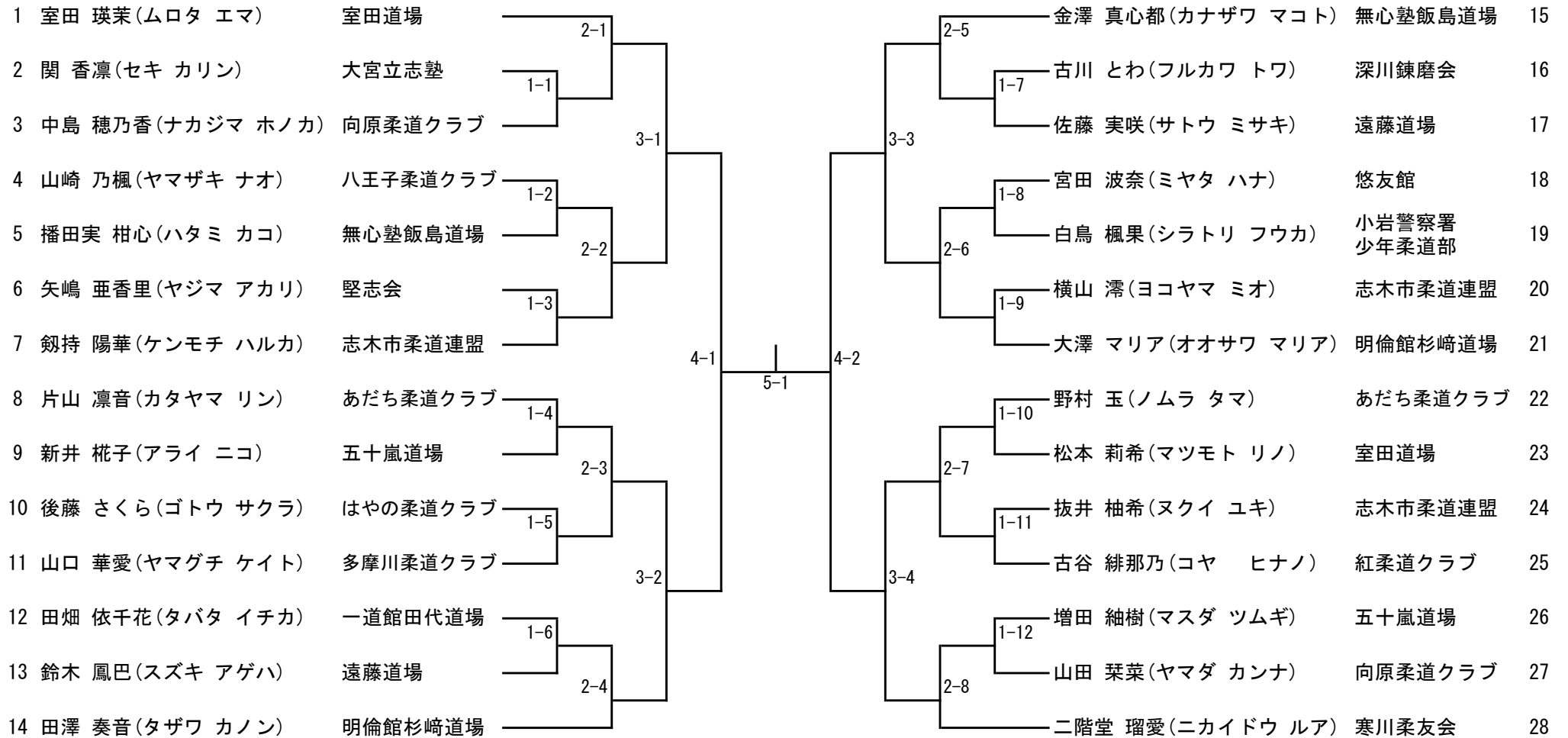
第二試合場

小学3年生男子重量の部 29kg以上



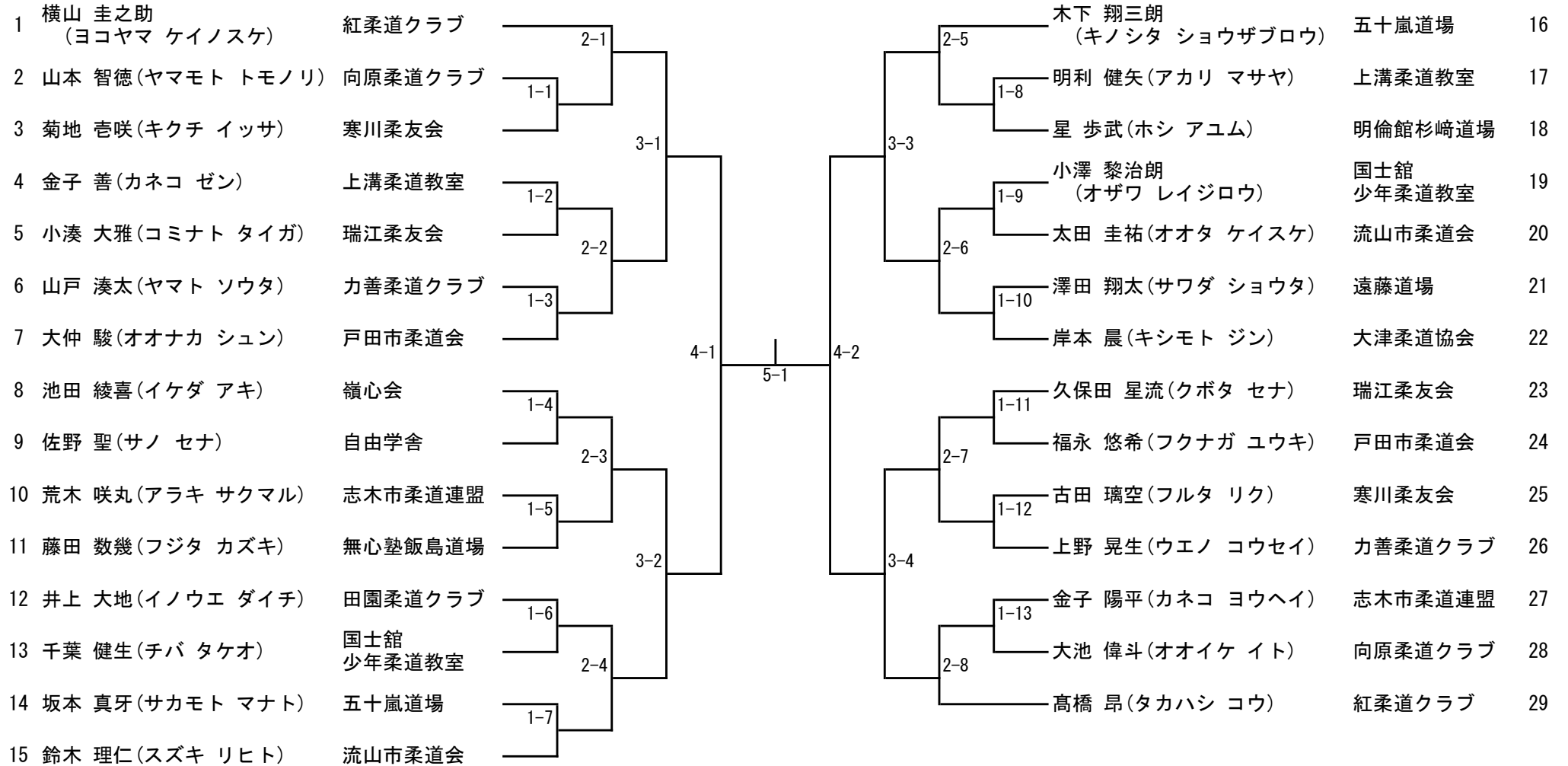
第三試合場

小学4年生女子の部



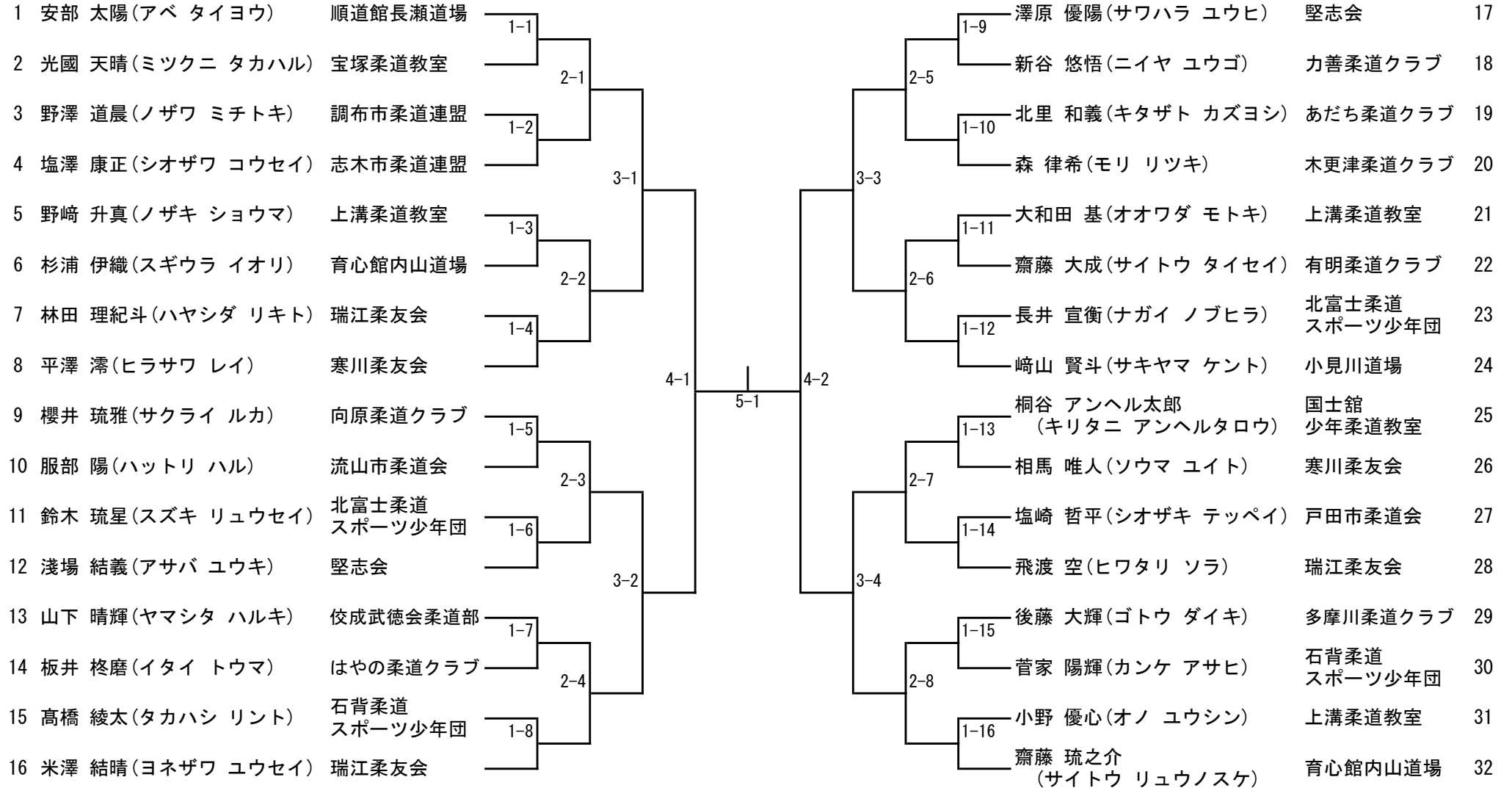
第一試合場

小学4年生男子軽量の部 33kg未満



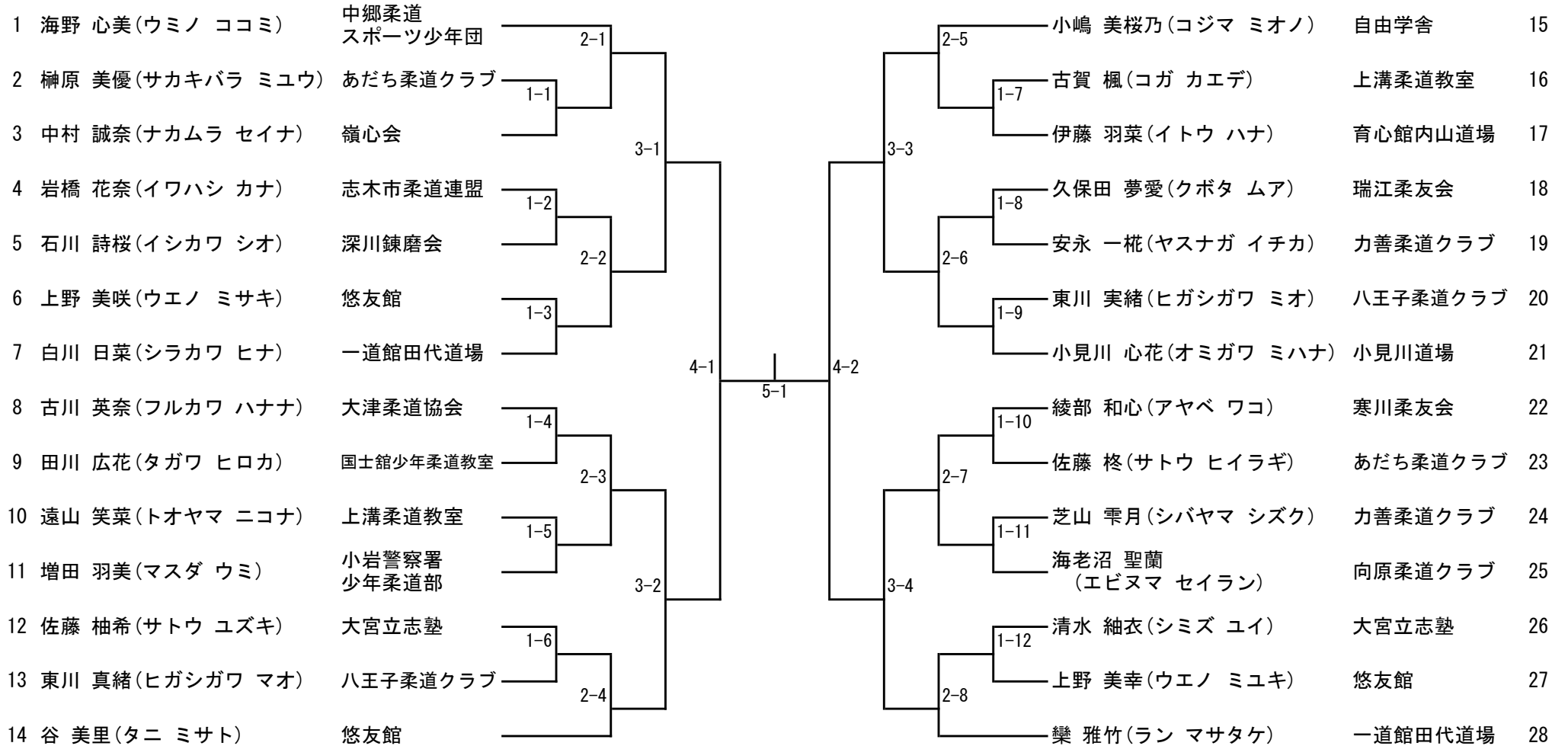
第一試合場

小学4年生男子重量の部 33kg以上



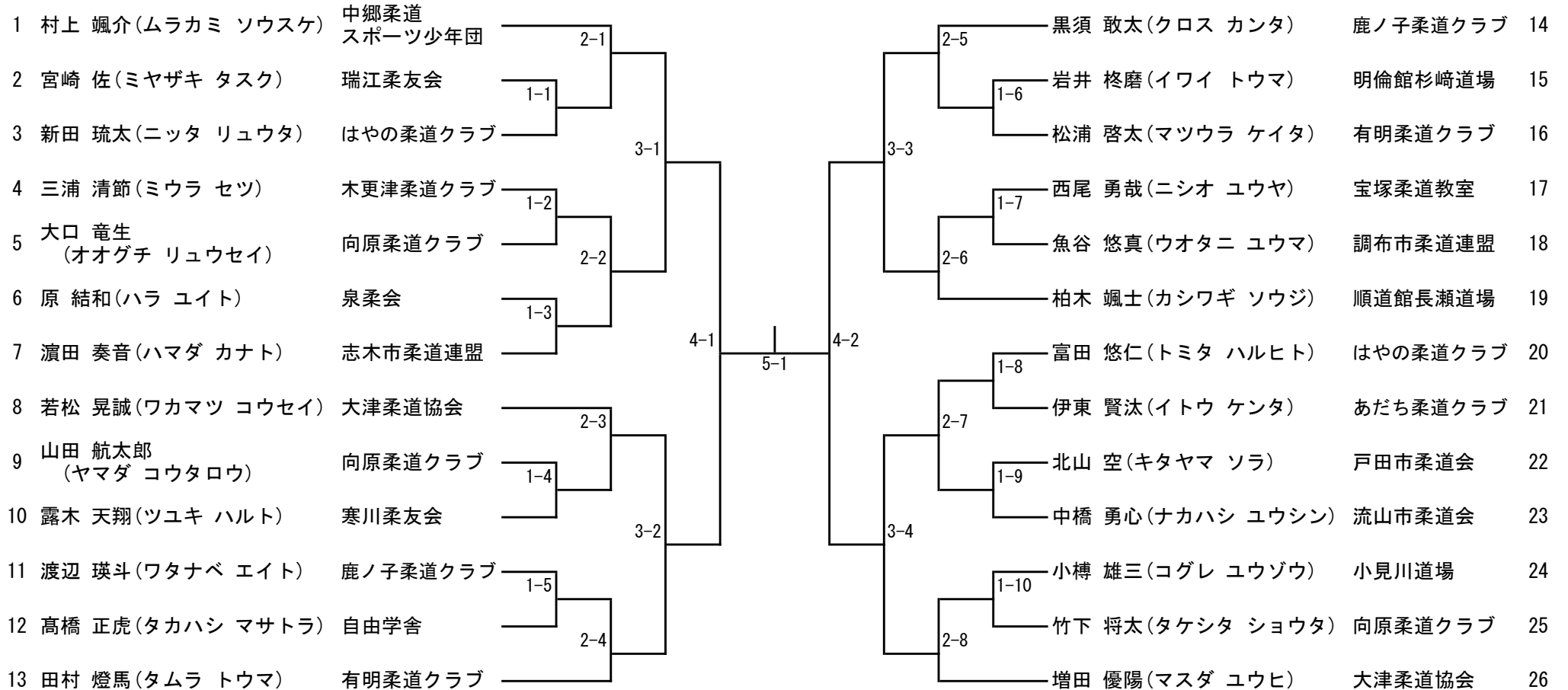
第三試合場

小学5年生女子の部



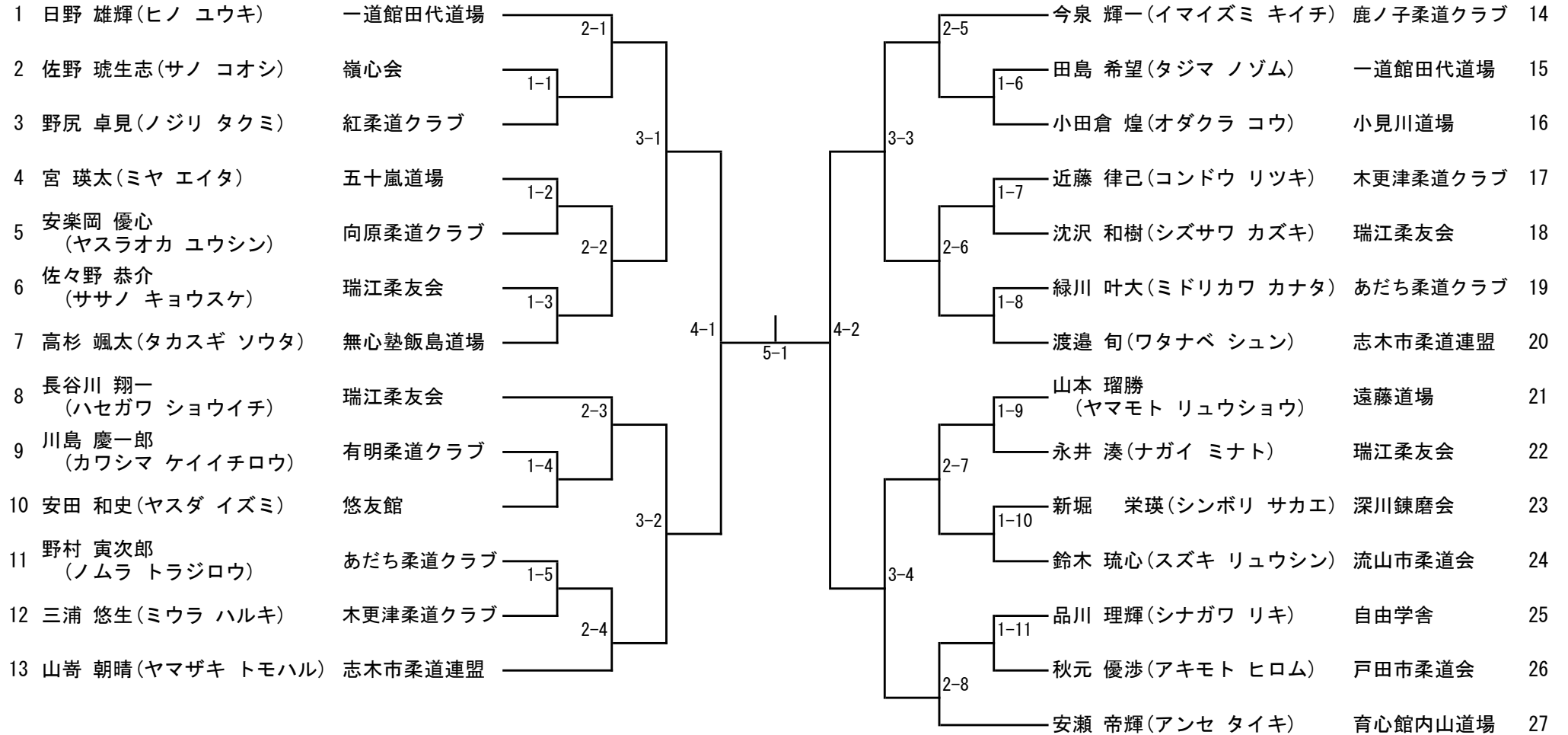
第四試合場

小学5年生男子軽量の部 45kg未満



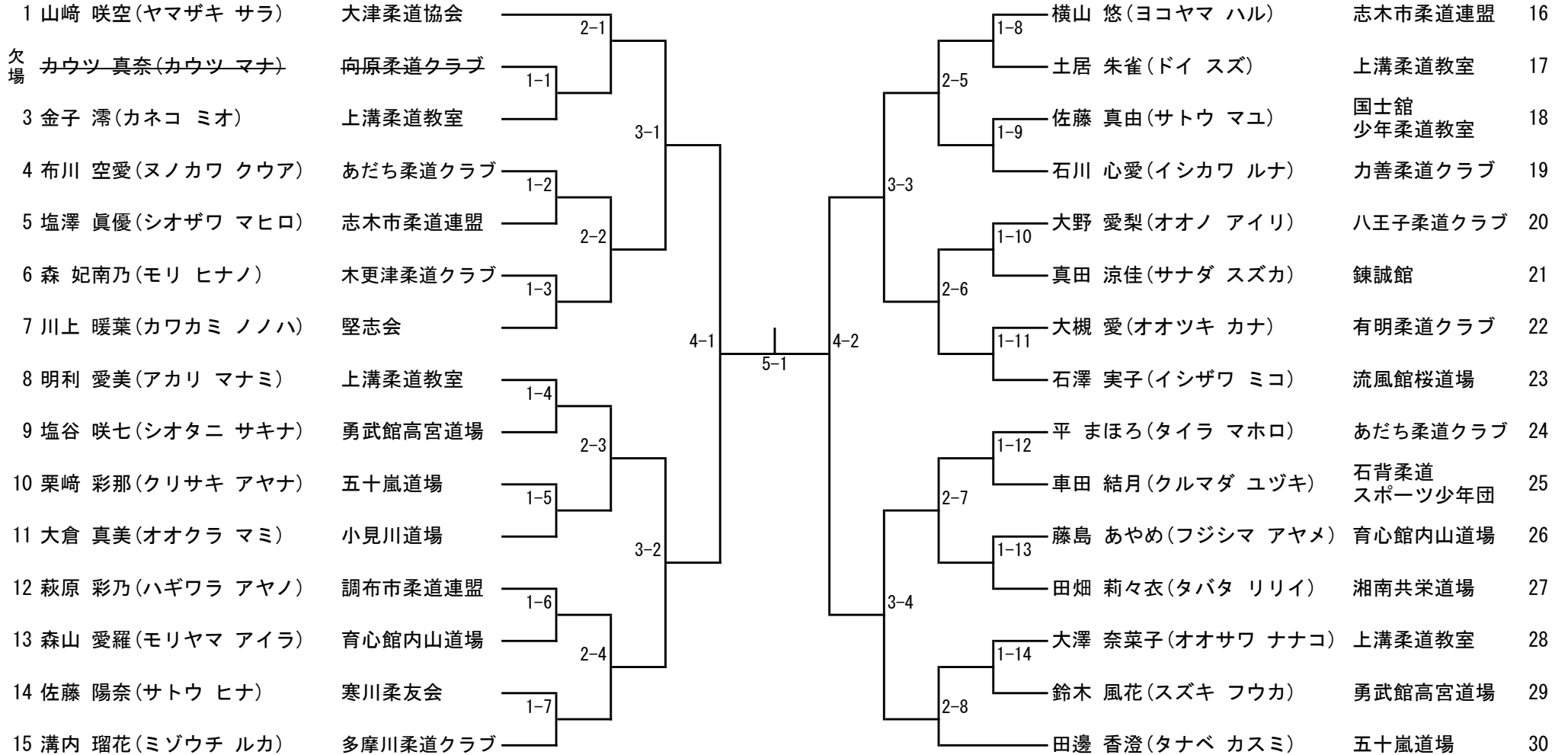
第四試合場

小学5年生男子重量の部 45kg以上



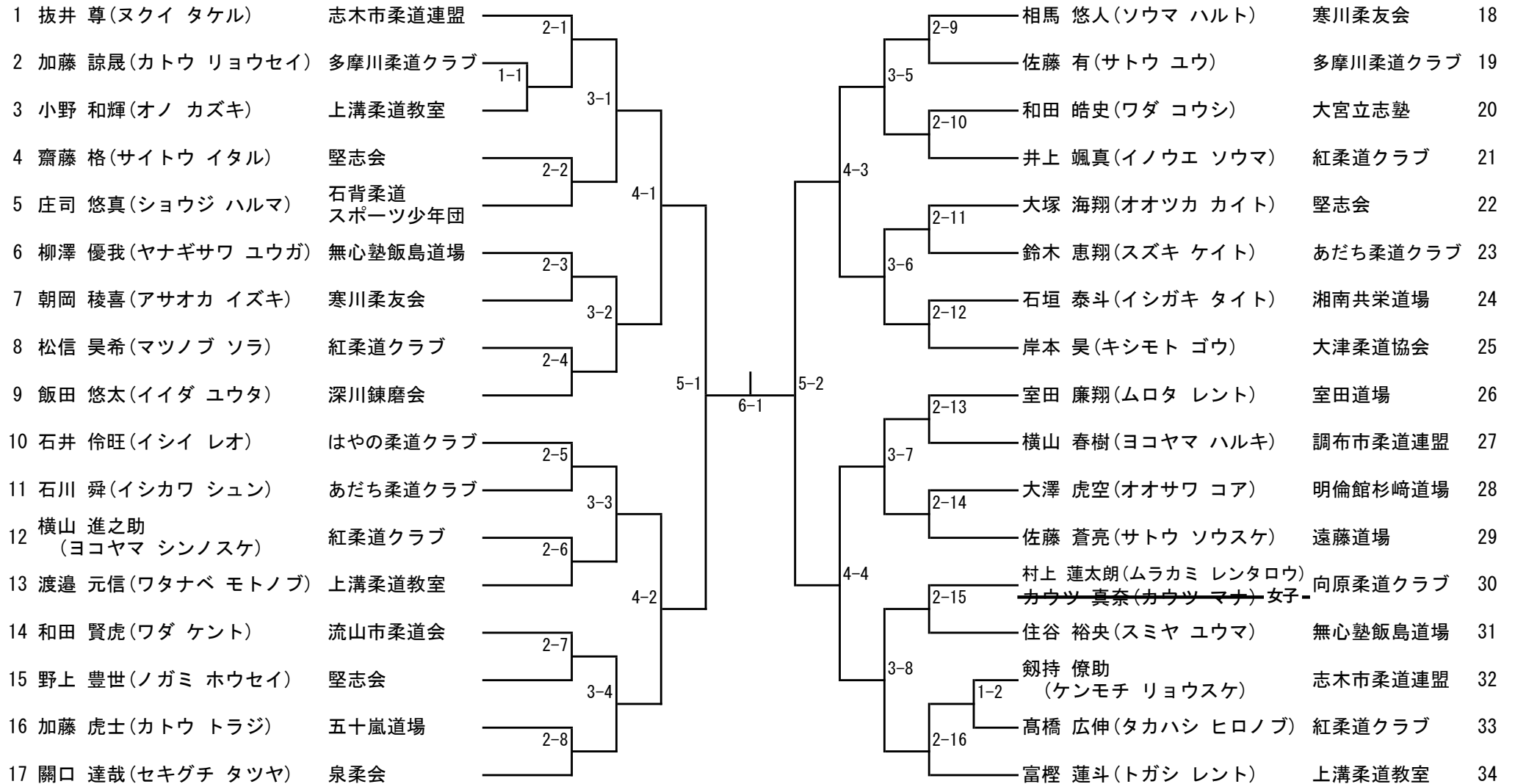
第三試合場

小学6年生女子の部



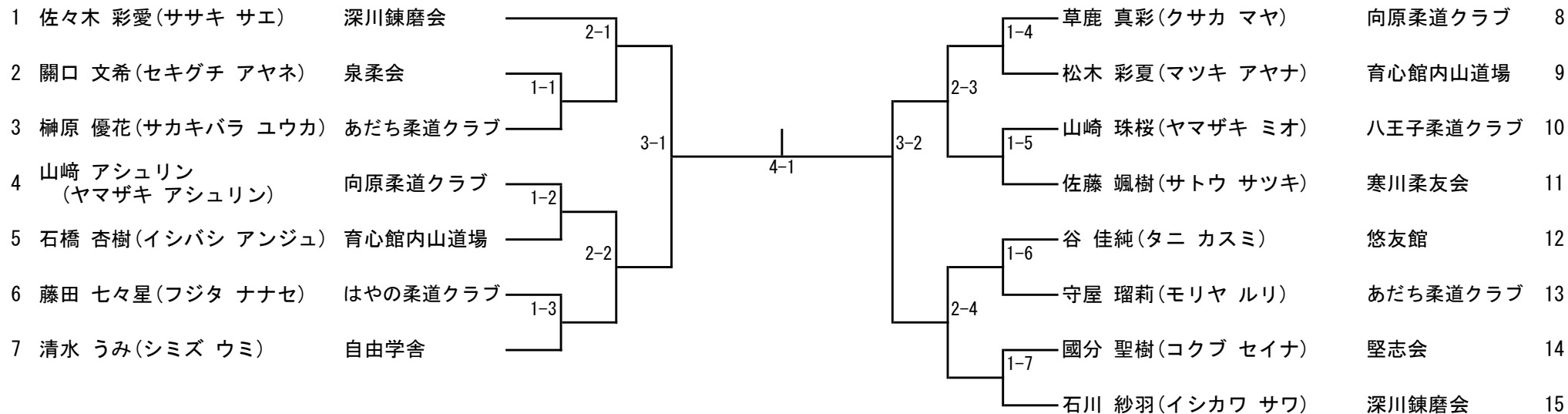
第二試合場

小学6年生男子重量の部 45kg以上



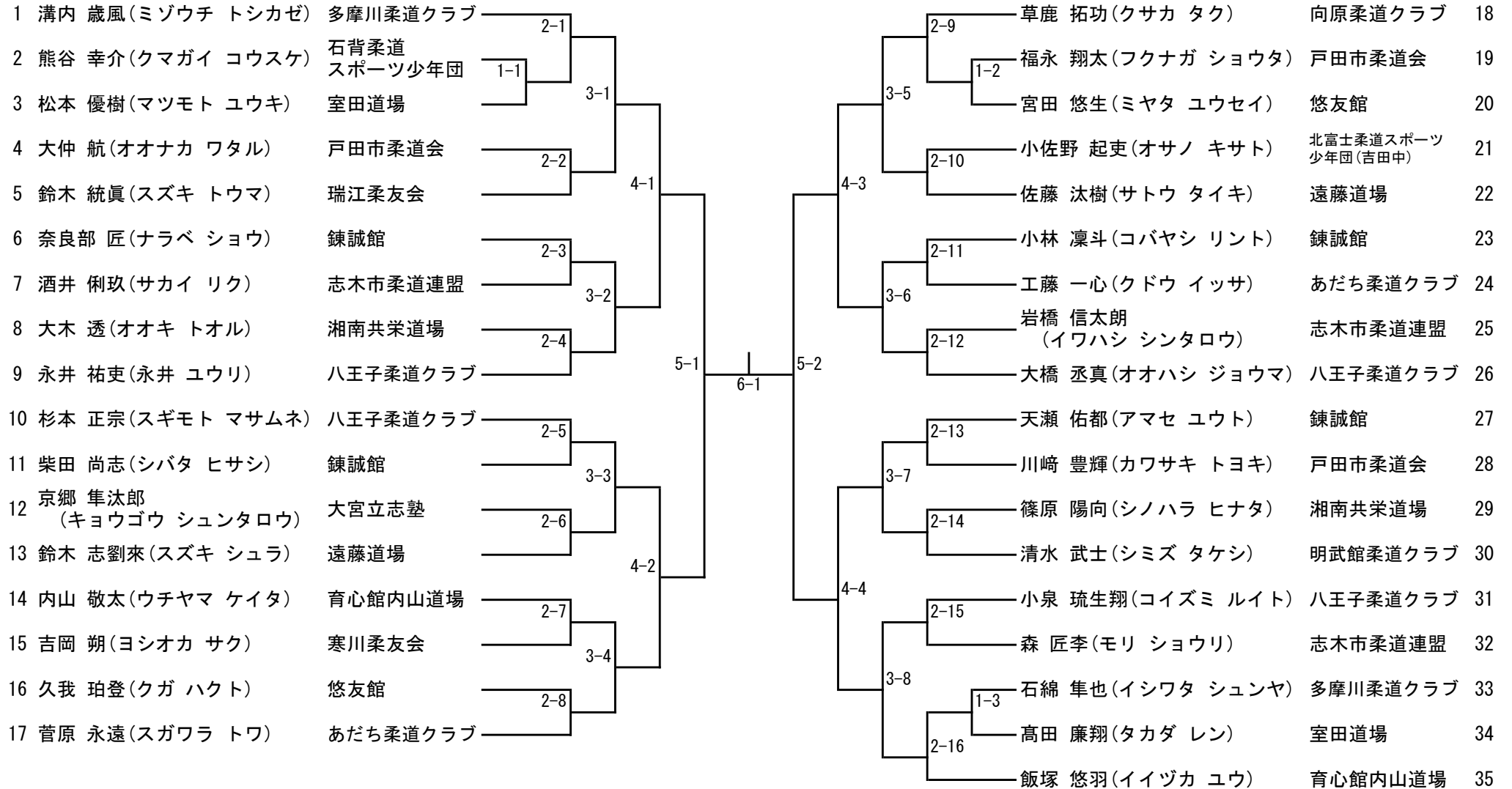
第一試合場

中学1年生女子の部



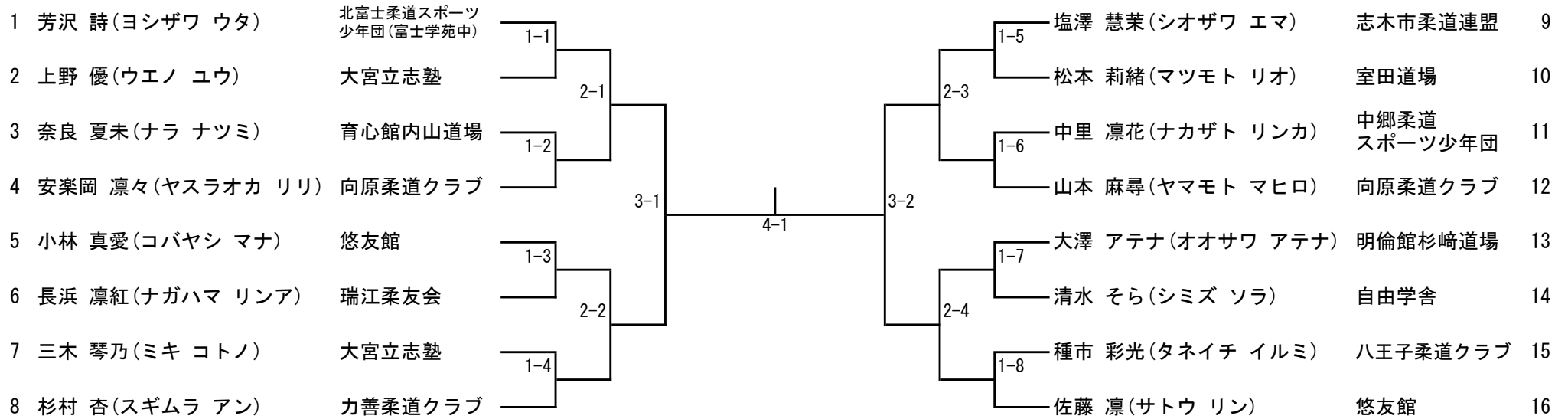
第一試合場

中学1年生男子の部



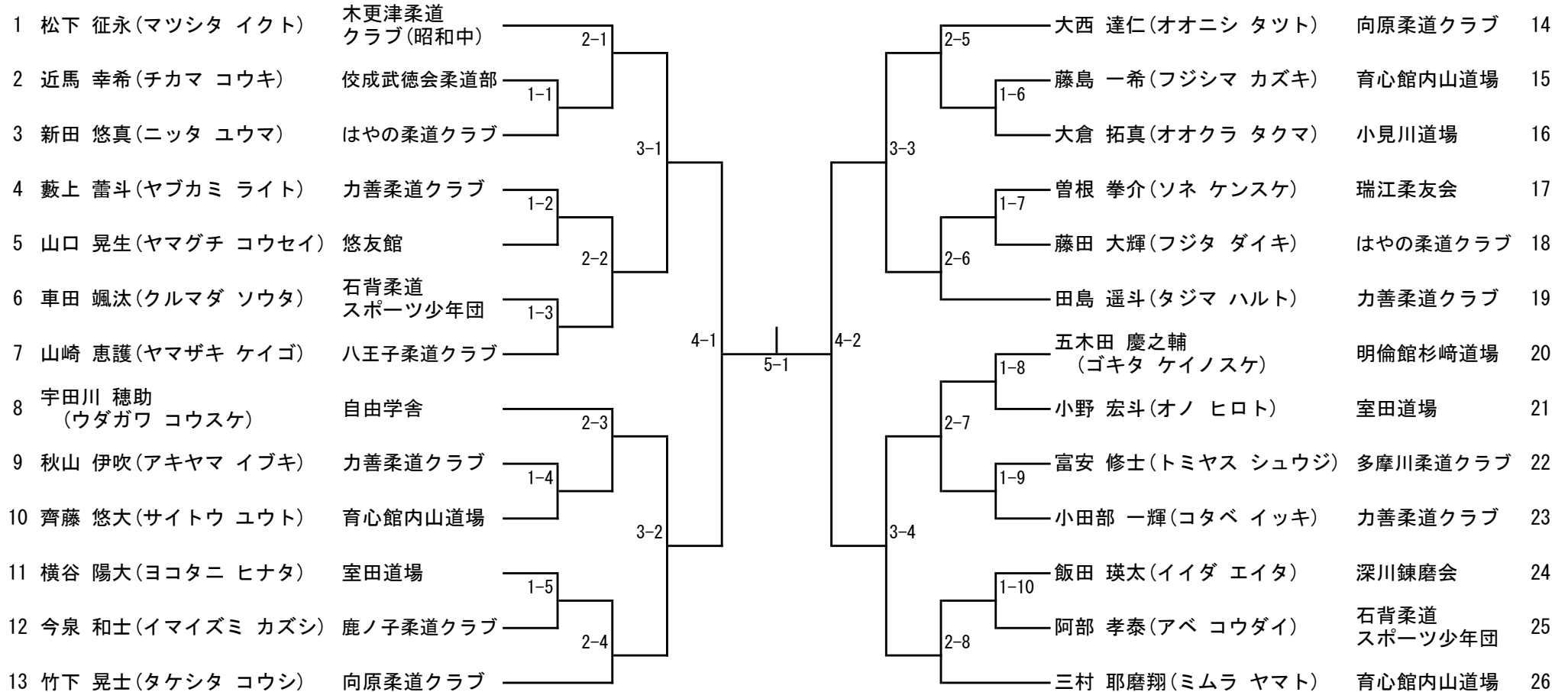
第二試合場

中学2年生女子の部



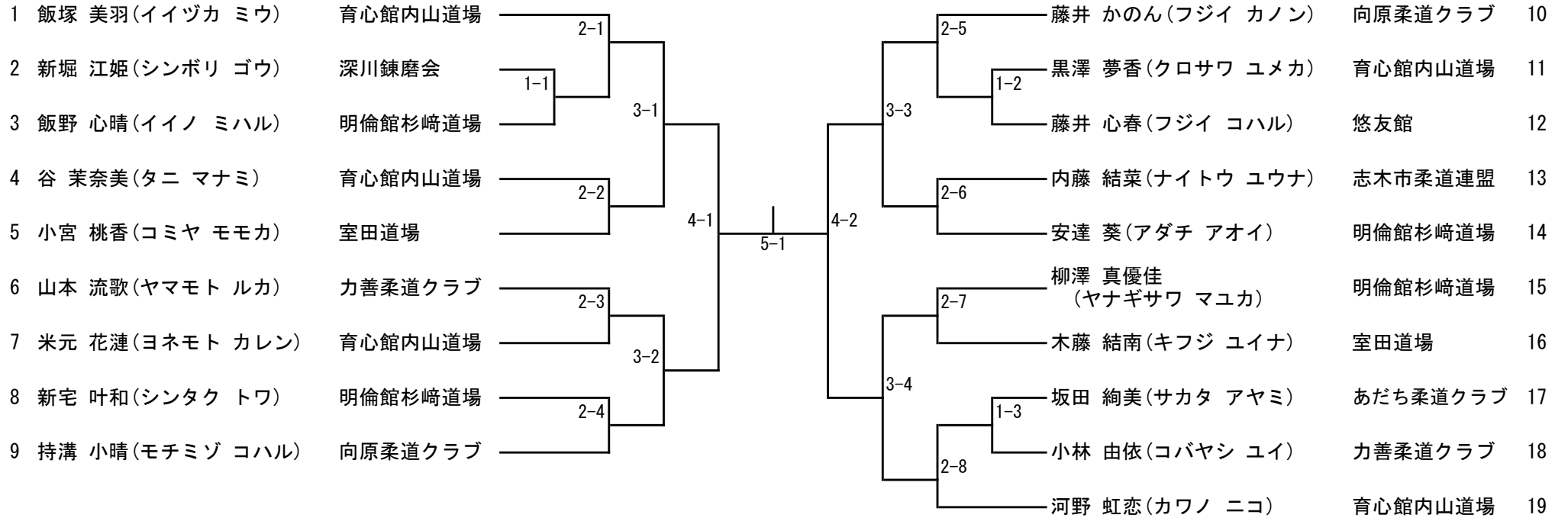
第四試合場

中学2年生男子の部



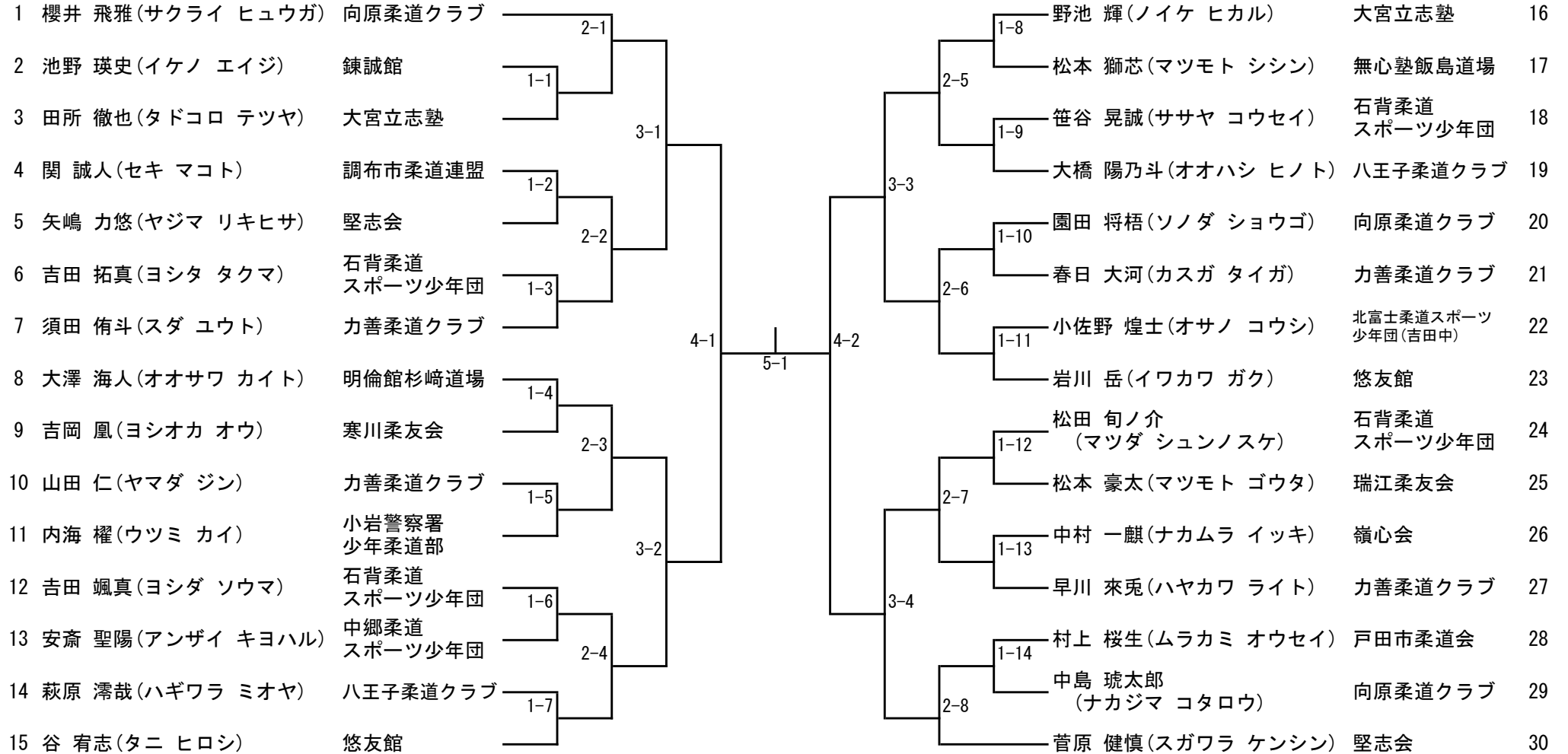
第三試合場

中学3年生女子の部



第四試合場

中学3年生男子の部



第50回記念柔道まつり大会参加団体一覧

道場名	道場主	主な活動場所	都道府県
1 須賀川市石背 柔道スポーツ少年団	鈴木 貴士	〒962-0841 福島県須賀川市上北町1-5 須賀川市役所武道館 木曜日18:00~21:00、 土曜日16:00~19:00 週2回 問合せ先 森 雅幸(会長) 090-9639-8897	福島県
2 力善柔道クラブ	杉村 圭介	古河市イーエスはなも体育館2階柔道場	茨城県
3 水戸市内原 柔道スポーツ少年団	河内 忠文	内原ヘルスパーク 柔道場	茨城県
4 無心塾飯島道場	長島 宏幸	〒310-0912 茨城県水戸市見川5丁目320番地 無心塾飯島道場 029-243-2037 (TEL/FAX)	茨城県
5 鹿ノ子柔道クラブ	黒須 隆雄	鹿嶋市立鹿野中学校	茨城県
6 中郷 柔道スポーツ少年団	海野 隆広	活動場所：北茨城市立中郷中学校 柔剣道場 問合せ先：海野 隆広	茨城県
7 大宮立志塾	長谷川 淳	さいたま市浦和駒場体育館 risshijuku0501@gmail.com	埼玉県
8 戸田市柔道会	清水 義行	戸田市スポーツセンター 戸田市柔道会 会長 清水義行 090-8451-6292	埼玉県
9 五十嵐道場	新井 邦啓	新座市総合体育館 柔道場	埼玉県
10 志木市柔道連盟	高橋 敦	志木市武道館 judo.shikishi@gmail.com	埼玉県
11 紅柔道クラブ	芳岡 博之	千葉刑務所、JFE体育館柔道場	千葉県
12 流山市柔道会	板倉 幸雄	活動場所：キッコーマンアリーナ他 問合せ先：ryujukai.info@gmail.com	千葉県
13 育心館内山道場	内山 勝喜	大網白里市柔剣道場 問合せ先08050500690(内山)	千葉県
14 流風館桜道場	藤野 信二	流風館桜道場 代表 藤野信二	千葉県
15 明倫館杉崎道場	杉崎 彰彦	千葉県八街市大木670-149 043-442-1655	千葉県
16 木更津柔道クラブ	新 洋一	航空自衛隊木更津分屯基地内武道場 090-8589-2573 代表 新 洋一	千葉県
17 小岩警察署少年柔道部	櫻井 正之	小岩警察署	東京都
18 瑞江柔友会	山口 正	主な活動場所：江戸川区立瑞江中学校 問い合わせ先：TEL 070-9238-0713 MAIL mizue.jyuyukai@gmail.com	東京都
19 明武館柔道クラブ	下村 貴則	品川区立戸越体育館	東京都
20 あだち柔道クラブ	内田 龍二	活動場所：足立区総合スポーツセンター柔道場 問い合わせ先：内田龍二	東京都
21 自由学舎	中里 浩	墨田区京島2-8-6 090-4731-1992中里	東京都
22 深川錬磨会	新堀 英男	江東区立深川第二中学校・江東区立東陽中学校	東京都
23 有明柔道クラブ	徳安 秀政	東京有明医療大学柔道場 ariakejudoclub@gmail.com	東京都
24 向原柔道クラブ	市島 大二郎	〒152-0011 東京都目黒区原町1-10-12 市島 大二郎	東京都
25 国士館少年柔道教室	岩淵 公一	国士館中学・高等学校柔道場 03-5481-3347	東京都
26 佼成武徳会柔道部	神田 雅章	東京都杉並区方南2-9-2 5立正佼成会第二団参会館B1階道場 佼成武徳会柔道部	東京都
27 勇武館高宮道場	高宮 廣	高宮ビル4階 03-3962-8976	東京都
28 多摩川柔道クラブ	倉部 豪		東京都
29 調布市柔道連盟	会長 前田 城治	活動場所：西調布体育館 問い合わせ先：090-8962-0631(前田)	東京都
30 一館道田代道場	田代 学	連絡先 東京都八王子市北野町539-2 電話番号 042-642-8922 FAX 042-642-8932 e-mail m-tashiro@ric.hi-ho.ne.jp	東京都
31 八王子柔道クラブ	小嶋 富士男	活動場所 八王子市立川口中学校 武道場 代表 小嶋 富士男 連絡先 080-1003-0574 mail hachioji.judo.cb.@kjb.biglobe.ne.jp	東京都
32 嶺心会	小川 伸弘	金程中学校 090-2665-4502	神奈川県
33 悠友館	宮田 佳世	活動場所 悠友館 お問い合わせ 09046036215	神奈川県
34 堅志会	馬渡 利貴	川崎市立中野島中学校武道場 川崎多摩スポーツセンター '09032062912	神奈川県
35 田園柔道クラブ	中野 憲一	活動場所 元石川高校 問い合わせ 中野憲一 090-3229-5345	神奈川県
36 はやの柔道クラブ	後藤 正和	川崎市立王禅寺中央中学校武道場 hayanojudo@yahoo.co.jp	神奈川県
37 横浜医療専門学校	芝 明朗		神奈川県
38 小見川道場	小見川 道浩	神奈川県横浜市青葉区つつじが丘1-12 045-988-7010	神奈川県
39 錬誠館	八木下 和輝	活動場所 横浜市立末吉中学校 問い合わせ先 renseikan.yokohama@gmail.com	神奈川県
40 順道館長瀬道場	長瀬 清弘	横須賀市不入斗町3-16	神奈川県
41 泉柔会	諏訪 力也	横浜市泉区	神奈川県
42 鎌倉柔道協会	相田 良一	鎌倉柔道協会 問い合わせ先：協会ホームページのお問合せフォームより https://kamakura-judo.jp/	神奈川県
43 湘南共栄道場	高木 圭介	秋葉台体育館、秩父宮記念体育館(共に藤沢市)	神奈川県
44 上溝柔道教室	熊坂 昇		神奈川県
45 遠藤道場	櫻井 忍	秋葉台文化体育館 遠藤公民館	神奈川県
46 寒川柔友会	三谷 健	活動場所=寒川総合体育館 問い合わせ先=090-2531-0199	神奈川県
47 室田道場	室田 次朗	〒253-0106 神奈川県高座郡寒川町宮山3035-4 0467-75-4326	神奈川県
48 北富士 柔道スポーツ少年団	渡辺 直也	山梨県富士吉田市立吉田中学校武道場 問い合わせ先：090-4754-3194(渡辺)	山梨県
49 大津柔道協会	大坪 俊裕	月/18:30~20:30 大津市立皇子山中学校 火木金/18:30~20:30 大津市立粟津中学校 日/18:00~20:00 大津市立粟津中学校	滋賀県
50 宝塚柔道教室	植田 友朗	宝塚市立スポーツセンター	兵庫県

柔道まつり大会道場対抗試合 栄光の記録

開催年月日	場所	青年の部	少年の部
第 1 回 (1970.7.12)	普門館	岐阜道場 (岐阜)	
第 2 回 (1973.10.7)	大田区立体育館	松山道場 (東京)	
第 3 回 (1975.7.6)	中央区立総合体育館	柳沢道場 (北海道)	
第 4 回 (1977.4.10)	中央区立総合体育館	渡辺道場 (神奈川)	
第 5 回 (1978.11.5)	中央区立総合体育館	小野道場 (東京)	
第 6 回 (1981.6.7)	品川区立戸越体育館	田島道場 (群馬)	
第 7 回 (1982.11.13)	品川区立戸越体育館	履正館道場 (兵庫)	
第 8 回 (1983.9.4)	目黒区立中央体育館	港武館道場 (神奈川)	岐阜道場 (岐阜)
第 9 回 (1984.12.9)	中央区立体育館	武徳館道場 (東京)	岩井道場 (石川)
第10回 (1985.9.22)	講道館	大津柔道協会 (滋賀)	岐阜道場 (岐阜)
第11回 (1986.12.21)	講道館	安藤道場 (東京)	岐阜道場 (岐阜)
第12回 (1987.9.27)	講道館	八王子市体育協会 (東京)	岐阜道場 (岐阜)
第13回 (1988.9.25)	講道館	浦安柔道協会 (千葉)	岐阜道場 (岐阜)
第14回 (1990.5.3)	講道館	幸柔道クラブ (神奈川)	岐阜道場 (岐阜)
第15回 (1991.5.3)	講道館	幸柔道クラブ (神奈川)	港武館道場 (神奈川)
第16回 (1992.5.3)	講道館	幸柔道クラブ (神奈川)	一道館田代道場 (東京)
第17回 (1993.5.3)	講道館	田島道場 (群馬)	港武館道場 (神奈川)
第18回 (1994.5.3)	講道館	八王子市体育協会 (東京)	港武館道場 (神奈川)
第19回 (1995.5.3)	講道館	松島柔道場 (長野)	港武館道場 (神奈川)
第20回 (1996.5.3)	講道館	松島柔道場 (長野)	港武館道場 (神奈川)
第21回 (1997.5.3)	講道館	幸柔道クラブ (神奈川)	港武館道場 (神奈川)
第22回 (1998.5.3)	講道館	八王子市体育協会 (東京)	港武館道場 (神奈川)
第23回 (1999.5.3)	講道館	八王子市体育協会 (東京)	一道館田代道場 (東京)
第24回 (2000.5.3)	講道館	八王子市体育協会 (東京)	明倫館杉崎道場 (千葉)
第25回 (2001.5.3)	講道館	八王子市体育協会 (東京)	港武館道場 (神奈川)
第26回 (2002.5.3)	講道館	八王子市体育協会 (東京)	一部 港武館道場 (神奈川) 二部 柿生青少年柔道会 (神奈川)
第27回 (2003.5.3)	講道館	八王子市体育協会 (東京)	一部 明倫館杉崎道場 (千葉) 二部 一心館菅谷道場 (茨城)
第28回 (2004.5.3)	講道館	八王子市体育協会 (東京)	一部 相武館吉田道場 (神奈川) 二部 遠藤道場 (神奈川)
第29回 (2005.5.3)	講道館	勇武館高宮道場 (東京)	一部 一心館菅谷道場 (茨城) 二部 懇心館柔道場 (長野)
第30回 (2006.5.3)	講道館	勇武館高宮道場 (東京)	一部 剛柔館藤田道場A (青森) 二部 明倫館杉崎道場B (千葉)

第31回 (2007.5.3)	講道館	勇武館高宮道場	(東京)	一部 一心館菅谷道場A	(茨城)
				二部 大津柔道協会	(滋賀)
第32回 (2008.5.3)	講道館	田島道場	(群馬)	一部 力善柔道クラブA	(茨城)
				二部 兵庫少年こだま会	(兵庫)
第33回 (2009.5.3)	講道館	田島道場	(群馬)	一部 剛柔館藤田道場	(青森)
				二部 臥牛館道場B	(東京)
第34回 (2010.5.3)	講道館	八王子市体育協会	(東京)	一部 力善柔道クラブA	(茨城)
				二部 五十嵐道場B	(埼玉)
第35回 (2011.5.3)	講道館	八王子市体育協会	(東京)	一部 力善柔道クラブA	(茨城)
				二部 田島道場	(埼玉)
第36回 (2012.5.3)	講道館	八王子市体育協会	(東京)	一部 剛柔館藤田道場A	(青森)
				二部 五十嵐道場B	(埼玉)
第37回 (2013.5.3)	講道館	八王子市体育協会	(東京)	一部 臥牛館道場A	(東京)
				二部 五十嵐道場B	(埼玉)
第38回 (2014.5.3)	講道館	力善柔道クラブ	(茨城)	一部 五十嵐道場A	(埼玉)
				二部 五十嵐道場B	(埼玉)
第39回 (2015.5.3)	講道館	力善柔道クラブ	(茨城)	一部 五十嵐道場A	(埼玉)
				二部 五十嵐道場B	(埼玉)
第40回 (2016.5.3)	講道館	鎌倉柔道協会	(神奈川)	五十嵐道場A	(埼玉)
第41回 (2017.5.3)	講道館	鎌倉柔道協会A	(神奈川)	五十嵐道場A	(埼玉)
第42回 (2018.5.3)	講道館	力善柔道クラブ	(茨城)	無心塾飯島道場A	(茨城)
第43回 (2019.5.3)	講道館	A 石田道場	(愛知)	無心塾飯島道場A	(茨城)
		B 遠藤道場	(神奈川)		
第44回		新型コロナウイルス感染拡大のため中止			
第45回		新型コロナウイルス感染拡大のため中止			
第46回		新型コロナウイルス感染拡大のため中止			
第47回 (2023.5.3)	講道館			一道館田代道場	(東京)
第48回 (2024.5.3)	講道館	一道館田代道場	(東京)	五十嵐道場	(埼玉)
第49回 (2025.5.3)	講道館	一道館田代道場	(東京)	深川錬磨会 B	(東京)

部門	優勝	準優勝	第3位	
道場対抗試合（青年の部）	一道館田代道場 （東京都）	無心塾飯島道場 （茨城県）	大宮立志塾 （埼玉県）	調布市柔道連盟 B （東京都）
道場対抗試合（少年の部）	深川錬磨会 B （東京都）	無心塾飯島道場 （茨城県）	深川錬磨会 A （東京都）	遠藤道場 （神奈川県）
小学1年生女子の部	亀井実咲 （多摩川柔道クラブ）	湯浅凪月 （堅志会）	森山美空 （育心館内山道場）	宮田怜絢 （有明柔道クラブ）
小学1年生男子の部	岩崎蒼志 （育心館内山道場）	相馬実凪人 （寒川柔友会）	山田季 （堅志会）	春山郁空 （五十嵐道場）
小学2年生女子の部	竹内愛桜 （育心館内山道場）	伊藤蘭 （育心館内山道場）	高杉心春 （無心塾飯島道場）	天瀬彩葉 （錬誠館）
小学2年生男子軽量の部	瀧沼祥仁 （育心館内山道場）	河野颯 （育心館内山道場）	渡邊陽出 （悠友館）	清宮蓮央 （育心館内山道場）
小学2年生男子重量の部	露木裕翔 （寒川柔友会）	雨宮愛和 （五十嵐道場）	佐和田丈樹 （調布市柔道連盟）	千住晃生 （流山市柔道会）
小学3年生女子の部	室田瑛菜 （室田道場）	二階堂瑠愛 （寒川柔友会）	金澤真心都 （無心塾飯島道場）	白鳥楓果 （小岩警察署少年柔道部）
小学3年生男子軽量の部	横山圭之助 （紅柔道クラブ）	高橋昂 （紅柔道クラブ）	野崎升真 （上溝柔道教室）	木下翔三朗 （五十嵐道場）
小学3年生男子重量の部	伊藤蓮太郎 （育心館内山道場）	齋藤琉之介 （育心館内山道場）	鈴木琉星 （北富士柔道スポーツ少年団）	澤原優陽 （堅志会）
小学4年生女子の部	海野心美 （中郷柔道スポーツ少年団）	小林雅竹 （一道館田代道場）	上野美幸 （悠友館）	小嶋美桜乃 （自由学舎）
小学4年生男子軽量の部	村上颯介 （中郷柔道スポーツ少年団）	増田優陽 （大津柔道協会）	柴田琉生 （阿見町スポーツ協会柔道部）	富田悠仁 （はやの柔道クラブ）
小学4年生男子重量の部	日野雄輝 （一道館田代道場）	渡邊拓也 （中郷柔道スポーツ少年団）	今泉輝一 （鹿ノ子柔道クラブ）	黒須敢太 （鹿ノ子柔道クラブ）
小学5年生女子の部	山崎咲空 （大津柔道協会）	池田舞優莉 （上溝柔道教室）	横山悠 （志木市柔道連盟）	溝内瑠花 （多摩川柔道クラブ）
小学5年生男子軽量の部	齊藤碧大 （育心館内山道場）	菅野貴善 （調布市柔道連盟）	松本侑斗 （室田道場）	中口清玄 （室田道場）
小学5年生男子重量の部	抜井尊 （志木市柔道連盟）	富樫蓮斗 （上溝柔道教室）	渡邊元信 （上溝柔道教室）	相馬悠人 （寒川柔友会）
小学6年生女子の部	佐々木彩愛 （深川錬磨会）	石川紗羽 （深川錬磨会）	草鹿真彩 （向原柔道クラブ）	篠崎汐 （上溝柔道教室）
小学6年生男子軽量の部	松本優樹 （室田道場）	小林健 （有明柔道クラブ）	草鹿拓功 （向原柔道クラブ）	高田廉 （室田道場）
小学6年生男子重量の部	溝内歳風 （多摩川柔道クラブ）	飯塚悠羽 （育心館内山道場）	小園駿太郎 （紅柔道クラブ）	富田瑛大 （紅柔道クラブ）
中学1年生女子の部	芳沢詩 （北富士柔道スポーツ少年団）	佐藤凛 （悠友館）	三木琴乃 （大宮立志塾）	塩澤慧菜 （志木市柔道連盟）
中学1年生男子の部	渡辺晃誠 （北富士柔道スポーツ少年団）	藤田大輝 （はやの柔道クラブ）	松下征永 （木更津柔道クラブ）	鈴木乃蒼 （大宮立志塾）
中学2年生女子の部	勝愛 （悠友館）	河野虹恋 （育心館内山道場）	木藤結南 （室田道場）	藤井かのん （向原柔道クラブ）
中学2年生男子軽量の部	村上海斗 （中郷柔道スポーツ少年団）	茂木利政人 （育心館内山道場）	柴田想生 （阿見町スポーツ協会柔道部）	野池輝 （大宮立志塾）
中学2年生男子重量の部	櫻井飛雅 （向原柔道クラブ）	神長煌禾 （中郷柔道スポーツ少年団）	横田遥斗 （無心塾飯島道場）	田口誠之 （無心塾飯島道場）
中学3年生女子の部	佐藤夢 （悠友館）	阿部夢子 （大宮立志塾）	小林周生 （一道館田代道場）	林咲実 （育心館内山道場）
中学3年生男子の部	川合權斗 （はやの柔道クラブ）	大石大幹 （無心塾飯島道場）	小林涼太郎 （志木市柔道連盟）	新谷勇氣 （悠友館）

国内における「少年大会特別規程」

国内における少年（中学生以下）の試合は、国際柔道連盟試合審判規程に則って行われるが、安全面を考慮し、次の条項を加えて行うものとする。

第17条（抑え込み）

附則として次を加える

寝技の攻撃・防御において、脊椎及び脊髄に損傷を及ぼす動作と判断したときは「待て」とする。

第18条 禁止事項と罰則

指導（軽微な違反）

1. 立ち姿勢で相手の後ろ襟、背部又は帯を握ること。
ただし、技を施すため、瞬間的（1, 2秒程度）に握ることを認める。
（注）中学生は、試合者の程度に応じて、後ろ襟を握ることを認める。
2. 両膝を最初から同時に畳について背負投等を施すこと。
3. 関節技及び絞技を用いること。
4. 無理な巻き込み技を施すこと。
5. 相手の頸を抱えて大外刈、払腰などを施すこと。
6. 小学生以下が、裏投を施すこと。
7. 「逆背負投」（通称）の様な技を施すこと。
8. 両袖を持って投げ技を施すこと。

反則負け（重大な違反）

1. 攻撃・防御において、故意に相手の関節を極めること。

（附則）

指導（軽微な違反）

1. 「相手の後ろ襟、背部又は帯を握ること」関係
 - ①「後ろ襟」とは、柔道衣を正しく着用したときの頸の後ろ側（うなじあたり）の範囲をいう。試合者の一方が後ろ襟を握った後、その襟を引き下げて側頸部にずらした場合でも「後ろ襟」とみなす。
 - ②「背部を握る」の範囲は、目安として肩の中心線に手首がかかるような状態をいう。背部を握った後、柔道衣をたぐりよせて釣り手の一部の指が後ろ襟の内側を握る状態になっても背部とみなす。特例として「後ろ襟、又は背部を握った」状態で、通称ケンケン内股等（内股に限らずケンケンとなる大内刈や大外刈等）をかけることは、〔瞬間的（1, 2秒程度）〕の事項を適用せず、また、その後、連絡した技や変化した技についても、技の効果が途切れるまで継続を認める。
2. 「両膝を最初から同時に畳について背負投等を施すこと。」関係
両膝を最初から畳につくとは、膝の外側部、内側部も含む。同時はもちろん、ほとんど同時と見なされる場合も含む。技が崩れた結果である場合は反則としない。
3. 「関節技及び絞技を用いること。」関係
 - ①寝技の攻撃・防御において、脚を交差して相手を制しているだけの状態は、三角絞とはみなさない。抑え込もうと脚を交差して相手を制止した後、絞まっている状態あるいは脊椎及び脊髄に損傷を及ぼす動作と判断した場合は、受傷を防ぐために、早めに「待て」とする。また、通称「三角固」の体勢となった時点で、危険な状態ではないと判断しても、交差している脚を直ちに解かなければ「待て」とする。交差していた脚を直ちに解けば、寝技の攻撃・防御は継続となる。
 - ②故意ではなかったが、絞技および関節が極まった場合は、「待て」とする。

4. 〔無理な巻き込み技を施すこと。〕 関係

「無理な巻き込み」とは、軸足のバネを利かすことなく、体を利用して倒れ込むようにして巻き込んだ技をいう。技が崩れた結果である場合は反則としない。

5. 〔相手の頸を抱えて施す大外刈、払腰などを施すこと。〕 関係

「相手の頸を抱えて施す大外刈、払腰等」とは、明らかに腕を相手の頸に巻きつけて施した場合のみをいう。

7. 〔「逆背負投」（通称）の様な技を施すこと。〕 関係

例えば一方の試合者が右組み、他方の試合者が左組みの体勢から、右組みの試合者が、正しく組んだ釣り手側の前襟を両手で握りながら、右足前回り捌き又は、左足後回り捌きで技を施し、相手を左方向に一回転させながら捻りを加えて、背中、又は頭から投げ落とす様な技をいう。但し、背負投を施して、相手が技を防御するために反対の肩越しに落ちた場合は含まない。

8. 〔両袖を持って投げ技を施すこと。〕 関係

相手の両袖を左右それぞれの手で持ったまま袖釣込腰、大外刈、外巻込等の技を施した場合をいう。但し、相手の片袖を持って、相手に自身の片袖を持たせたまま内股等の技を施した場合は含まない。

改廃

本規程の改廃は、審判委員会において協議し、理事会の承認を得て行う。

付則

この申し合わせは、平成22年5月1日から実施する。

この申し合わせは、平成23年6月14日から部分変更して施行する。

この申し合わせは、平成27年3月31日から改正し、平成27年6月1日から施行する。

この申し合わせは、平成27年11月30日から申し合わせを特別規定として改正し、施行する。

この特別規定は、平成30年3月1日から改正し、平成30年4月1日から施行する。

この特別規定は、令和3年3月15日から特別規程と改正し、施行する。

この特別規程は、2022年1月24日から改正し、2022年4月1日から施行する。

この特別規程は、2023年12月8日から改正し、2024年4月1日から施行する。

柔道界から

暴力・パワハラ・セクハラ

をなくそう!



(公益財団法人) 全日本柔道連盟 コンプライアンス委員会

これまでのコンプライアンス委員会活動状況とリーフレット作成の目的

全日本柔道連盟は、2013年8月に「暴力行為根絶宣言」の発出とともに「コンプライアンスホットライン」「目安箱」を制定し、「柔道における暴力の存在は決して許さない」という強い決意のもと、柔道指導者に限らず柔道を行うすべての者に対し、いかなる暴力行為も行わないことを強く求めてきました。加えて、2015年5月に「暴力・体罰・セクハラ問題を学ぶためのガイドブック」を発行し、2018年10月には「柔道界からパワハラをなくそう」リーフレットを発刊、全柔連HP・大会プログラム等に広く掲示し、「暴力・パワハラ・セクハラ」のない柔道界を目指してきました。

しかし、一時は改善の兆しを見せたかに思えた「暴力・パワハラ・セクハラ」問題でしたが、「選手の能力向上のためには指導の中で暴力も必要である」と妄信する指導者や年長者による問題

行為は収まることなく、今日までに多くの「暴力・パワハラ・セクハラ」等事案を処分の対象としてきました。また、表に出て処分の対象になった事案だけでなく、「指導とパワハラの境界線が不鮮明」と捉えてしまい、「指導の一環である」として表面化しない問題事案も多く存在すると言われています。

今回のリーフレットでは、実際に柔道指導に当たっている指導者が持っている「自分の指導は、大丈夫だろうか?」という問いに答えるべく、過去にあった事例を取り上げ、より具体的に、「自分自身にも起こりうること」として考えることができるようにすることを目標にしました。

このリーフレットが、柔道指導者がより良い指導を実現する一助になれば幸いです。

柔道界における

暴力

パワハラ

セクハラ

最近の主な実例

分類

内 容

暴行・傷害を発生させる行為(必要以上に強く投げたり、マイツタしても絞め続ける行為も含む)

Q1 指導の一環であれば、多少殴ったり、けったりしても良いのではないですか？

Q2 体罰は愛のムチであり、選手も親も望んでいます。「勝たせるため」にしているのだから許されますよね？

Q3 生徒の言動に大きな問題(悪ふざけ、いじめ等)がありました。このような場合、体罰も必要ではないですか？

事例1 顧問が練習中、気合いが入っていない部員の顔をプラスチック製バットで殴打し、ケガを負わせた。

事例2 監督が選手の試合に臨む態度、結果が気に入らないと、出場した2名に対して顔を平手打ち、足蹴り、突飛ばす等の暴力行為を行った。

事例3 生徒が絞め技・関節技に弱いことを懸念した指導者が、「自分たちもこの厳しさを乗り越えて強くなった」という信念で、乱取り稽古中に何度も生徒を絞め技で失神させた。



Answer 「暴力行為や暴言、精神的圧迫などで威嚇して、自分の言うことを聞かそうとする行為」は、虐待的行為として社会的に大きな問題とされています。残念ながら、柔道活動の現場では、「性根を叩きなおす」「気合を入れる」「愛のムチ」等の言葉を大義名分に、指導の為には必要なこともあると黙認されることがあります。しかしながら、現代社会において決して許されるものではありません。指導者自らが学ぶことを忘れず、選手との対話を通して、言葉での説明や手本を示すことで指導し、本人の気づきを大切にしながら励まして行くといった指導を心掛けましょう。

脅迫・名誉棄損・侮辱・暴言・ひどい叱責(人格を否定するような言葉、むやみに怒鳴る行為も含む)

Q1 高い目標を達成するためには、集中力が必要です。「気を抜いたり、ミスをすると指導者に叱られる」という緊張感が必要なのではないですか？

Q2 指導者の「熱い思い・情熱」を選手たちに伝える為、あえて怒鳴ったり、厳しい言葉で叱責することは必要なことではないですか？

事例1 ある柔道部顧問は練習態度や試合結果が気に入らないと、「死ね」「殺す」「ごみ」などの罵声を繰り返して浴びせた(暴力・体罰を伴う)

事例2 ある選手が、部のルールに違反した。指導者は、「連帯責任」という名目で、同学年の選手全員を寮の外出禁止とし、食事当番や電話当番を強制したため、選手は学生の本分である授業や練習に出ることができなくなった。

事例3 ある指導者は、気に入らない選手が挨拶しても無視し、アドバイスを求めても「お前にはしない」と言い放った。



Answer 当然、相手を侮辱したり、差別発言を繰り返すことは、パワハラとなります。指導者としては、「反発心を力に変える」「気合を入れなおす」「叱咤激励する」といった考えで、あえて大声で怒鳴ったり、汚い言葉を使っているつもりでも、選手は自尊心を傷つけられ精神的に落ち込むことが多いものです。暴言によって生徒や選手が精神的に追い込まれ、自殺に至ったケースもあります。暴言は、ときに人権侵害に結びつくのです。スポーツ指導においては、肯定的な言葉がけや矯正を目的とした言葉がけが重要であるとされています。それはまた、主体的に考え行動できる選手を育てることにつながります。指導者と選手に上下はなく、対等な関係であるという意識を持ち、一般社会で受け入れられる言動を心がけ、互いに気持ちよく活動できる環境をつくりましょう。

① 身体への攻撃

② 精神的な攻撃

隔離・仲間外し・口をきかない等の行為(無視、練習相手をしない、指導をしない行為も含まれる)

- Q1 生意気で指導者の言うことを聞かない選手には、その行為が皆に迷惑をかけることをわからせるために無視することも必要なのではないですか？
- Q2 部の伝統に逆らったり、集団の輪を乱す部員には、「試合に出さない」「稽古に参加させない」等の罰は、必要なのではないですか？

- 事例1 先生から急な連絡を受けた上級生が、「練習に遅刻を繰り返す」「指示されたことを守らない」下級生にだけわざと、練習場所や時間の変更を伝えなかった。
- 事例2 ある指導者が選手に対し、「俺の前でよく柔道ができるな」「あんな身勝手な奴とは稽古するな」等の理不尽な発言を繰り返し、稽古をさせなかった為、選手は孤立した。

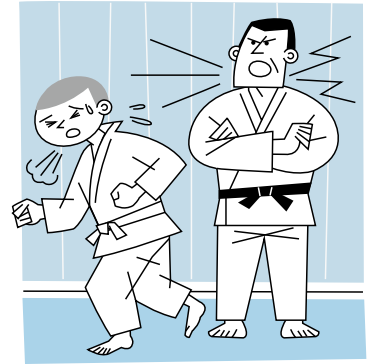


Answer 指導者の方針に従わない選手に対して、「無視」「稽古に参加させない」「試合に出さない」等によって、集団から孤立させる行為は、パワハラとなります。これが、「いじめ」等に発展し、退部や転校等につながれば社会的問題にもなりかねません。上下関係による「強制と服従」での指導は、選手が自発的に柔道を楽しむ権利を奪い、「選手自らが考え工夫する力」を育むことを阻害してしまいます。指導者は、「自分が一番正しいという妄想」を改め、他の人の意見にも耳を傾け、常に学び続ける姿勢を持ちましょう。

明らかに不要なことや実行不可能なことを要求すること(合理的な理由のない過度な練習も含む)

- Q1 ある選手が手を抜いた稽古をしたので、罰として猛暑の道場で倒れこむまで打込みをさせました。気合を入れる為には、問題ないですよね？
- Q2 勝敗を決めるのは、最後は精神力です。最後に勝てる強い選手を育てる為、限界を超えるくらいの練習をさせることは、問題ないですよね？

- 事例1 ある指導者は、試合で負けると、人が変わったように不機嫌になり、次の練習時に、腕立て伏せ千回、スクワット千回、打ち込み千回等の、過度な練習をさせるので、生徒や保護者は怪我をしないかととても不安だが、怖くて言いだせない。
- 事例2 ある指導者は、なかなか技の要領を覚えられない生徒に対して「あんなに柔道の稽古ができないやつは、グラウンドでも走っている」とつきはなし、その後3時間もランニングを続けさせた。夏の暑い日で、あやうく熱中症になるところだった。

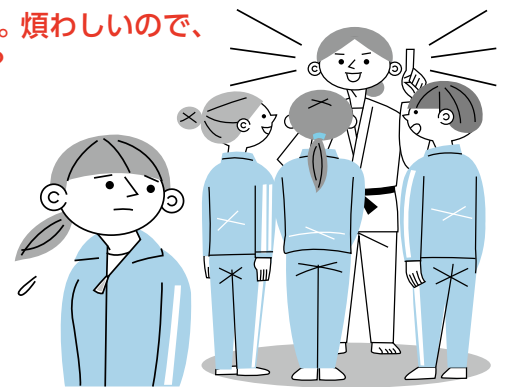


Answer ただ単に「精神力を高める」「根性をつける」等のために、厳しい稽古・長時間の練習を強いることは、パワハラというべきレベルだと考えられます。「過度の練習がスポーツ障害・外傷のリスクを高めること」をよく理解し、「柔道の特性等を踏まえた科学的指導法」を学んだ上で、個人差等にも配慮して練習メニューを設定しましょう。指導者は最新の指導法を学び、選手が競技として柔道をしている間だけでなく、競技を終えた後も「生涯柔道」を楽しむことができるような指導を心掛けましょう。

合理的な理由なく、程度の低いことをさせる、活動をさせない等の行為(1人だけ別メニューも含む)

- Q1 指導方針にいちいち異を唱える選手に対し、「私の方針に反対なら、何もするな」と言い、見取り稽古だけにしました。問題ないですよね？
- Q2 ちょっとしたことでもケガをしたといってくる選手がいます。煩わしいので、「元立ち」や「投込み」はさせません。問題ないですよね？

- 事例1 ある柔道部では、選手の練習にのぞむ態度が少しでも気に入らないと、「もう何もなくていい」「道場の隅で正座でもしてる」「帰れ」「道場の外に出て入ってくるな」と冷たく言い放つ為、練習の雰囲気が悪くなり、みんな徐々にやる気を失っている。
- 事例2 ある指導者は、指導に従わない道場生に対し、みんなが見ている前で「俺の言うことが聞けないなら、道場から出ていけ」と追い出したきり、その後何のフォローもしなかった。



Answer 合理的な理由なく、「仲間とは違う程度の低いメニューを行わせる」「活動をさせない」等の行為は、「いじめ」「仲間外れ」に類する行為でパワハラとなります。また、「人間関係からの切り離し」に近い性質も持っています。どうしても、ある選手だけを別メニューにする必要がある時は、「どうして、その選手だけが違う練習をしなければならないのか」、その理由を本人だけでなく仲間にも丁寧に説明し、全体が納得した上で行うようにしましょう。

私的事項に過度に立ち入ること。家族関係・恋人の有無・休日の予定等、私的領域に踏み込む行為

⑥ プライバシーの侵害

- Q1 選手の生活を正しく管理することは、指導者の大事な役割です。プライベートなこともすべて知っておく必要があるのではないですか？
- Q2 試合で結果が出ない選手に対して、柔道の邪魔になる「男女交際」をやめるように言いました。問題ないですよね？

- 事例1 ある先輩が、柔道部の上下関係を利用して、新入生のプライバシー（恋人、家族関係など）に立ち入ってきて、いろいろなことを言うので後輩たちは皆まいている。
- 事例2 ある指導者は、必ず親の職業を聞きだし、職によっては自分に便宜を図るように仕向けさせるので評判が悪い。



Answer 上司と部下、教師と生徒、先輩と後輩、指導者と教え子等の関係性において、「私的事項に過度に立ち入る」といったことが起こることがあります。柔道の指導とは全く関係がないのに、立場を利用して、家族関係、恋愛関係、休日の予定等のプライベートなことについて詮索することは、ハラスメントとなります（その行為が、男女関係に発展させることを意図したものであればセクハラ）。また、個人情報を相手の許可なく漏洩することは違法な行為となる場合があります。「立場を利用して、無意識にプライベートを詮索していることもある」ということを意識して行動しましょう。

当事者の意に反した性的な性質の言動を行うこと。それによって一定の不利益を与えたり、活動環境を悪化させること

⑦ セクシャルハラスメント

- Q1 「胸が大きいな」「ケツでかいな」等は、単なる冗談の一つです。大丈夫ですよね？
- Q2 女子選手は、生理の関係で調子に影響が出ます。選手の生理について把握し、状況を知る為に、常に質問しても問題ないですよね？
- Q3 選手とマッサージしながら会話することで、体調管理を行なうとともにコミュニケーションをとっています。異性ですが、問題ないですよね？

- 事例1 ある指導者が教え子に対し、寮や合宿中に「わいせつ行為」を繰り返した。
- 事例2 Tシャツの上から胸をじろじろ見てきて、「下着が透けてるぞ」などと言ってくる。
- 事例3 寝技などの練習中、不必要にお尻や胸を触ってくる。
- 事例4 試合中、柔道衣が汗で濡れて透けていたり、Tシャツの首の部分が伸びている時を狙って写真を撮ってくる。



Answer セクハラとは、「相手を不快にする、性的な言動」のことです。その行為が性別や意図的であるなしに関わらず、被害者や周りの人にとって不快なものであれば、セクハラとなります。柔道界では、時に指導者が選手に対して「絶対的権力」を有している状況が見られます。その関係性から、寮生活、合宿や遠征等で多くの時間と空間を共有する中、指導を口実とした身体接触（稽古中不必要に尻や胸を触る/無資格者によるマッサージや、密室の空間に2人きりになる等）が当然のことのように行われている現状があるのです。柔道にたずさわる人々が、安全に楽しく活動できるように、「柔道界においてセクハラは絶対に許さない」という強い姿勢を社会に示していきましょう。

生徒間の暴力・指導者/関係者の黙認・指導者の指示による学生間の暴力・私的交流におけるトラブル

8 そ の 他

- 事例1 生徒間の暴力・指導者の黙認** - 校内、道場、寮で上級生から下級生へ殴る、蹴る等の暴力や恐喝行為が繰り返されていた。
- 事例2 パワハラ・体罰が行われている場に居ながら、制止せず傍観** - 問題行動があった生徒に対し、ある指導者が、稽古中に「叩きつけるような投げ方」「故意に絞め落とし気を失ったところをビンタ」等を行った。副顧問も稽古に参加していたが、制止せず傍観していた。
- 事例3 指導者の指示による学生間の暴力** - ある大学指導者が先輩部員に対し、遅刻するなど生活態度が悪い部員を厳しく指導しろと指示した。先輩部員は、練習でしごき（殴る、蹴る、絞め落とす等）、私生活でも暴力が常態化した。
- 事例4 柔道関係者の私的交流におけるトラブル** - 県の柔道行事のあと飲食、二次会で行きつけのスナックに行った。Aが言葉遣いを叱責したところ、Bが従わず口論となり、Bが首筋を掴みかかる等の行動に出て、Aも相手の顔面を殴る等の暴力を加えた。



Answer 「あらゆる暴力やハラスメントは、しない・させない・許さない」という強い意識を常に持って指導に当たることが大切です。自身が気を付けるだけでなく、コンプライアンスに問題のある行動を見かけたら、黙認や隠ぺいをせず改善に向けた適切な行動をしましょう。指導者・選手・関係者全員が、「暴力や暴言は許されない」ということをしっかりと認識し、自由に意見を言い合うことのできる組織、チーム・環境を作ることを心掛けましょう。

ご相談窓口

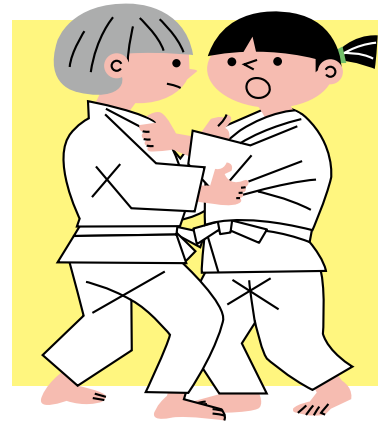
全日本柔道連盟ホームページ(<https://judo.or.jp>)から「全柔連について」→「ご相談窓口」へ進んでください。

都道府県柔道連盟(協会)

都道府県柔道連盟に関することは、都道府県窓口担当者にご相談ください。

全日本柔道連盟「柔道目安箱」

- 対象者**：どなたでもご利用できますが、内容によって、全日本柔道連盟が対応する場合と都道府県柔道連盟が対応する場合があります。
- 受付方法**：封書またはメール
※全柔連HPの「ご相談窓口」から「柔道目安箱」を選択し、「投稿フォーム」に記入してご送付ください。
(メールの場合、担当者からの返信を受信可能な状態にしてください)
- 郵送先**：〒112-0003 東京都文京区春日 1-16-30 全日本柔道連盟 倫理推進室「柔道目安箱」係
- メール送付先**：rinri@judo.or.jp



全日本柔道連盟「内部通報制度(コンプライアンスホットライン)」

- 対象者**：全柔連登録会員、全柔連及び加盟団体の役職員
- 受付方法**：封書またはメール
※全柔連HPの「ご相談窓口」から内部通報制度(コンプライアンスホットライン)を選択し、「受付表」に記入してご送付ください。窓口は2ヶ所あります。(メールの場合、担当者からの返信を受信可能な状態にしてください)

- 郵送先**：〒105-0003 東京都港区西新橋 1-21-8 弁護士ビル 807号
あたらし橋法律事務所 赤堀文信弁護士気付 全柔連コンプライアンスホットライン
- メール送付先**：akahori@atarashibashi.com

- 郵送先**：〒107-0052 東京都港区赤坂 7-5-7 赤坂光陽ビル 5階
山田・尾崎法律事務所 山田奈美香弁護士気付 全柔連コンプライアンスホットライン
- メール送付先**：n.yamada@yamada-ozaki.com

「暴力・パワハラ・セクハラ」を起こさないために

1. 勝負がすべてではありません

柔道には、負けて学ぶことも多くあります。「勝敗」以外にも大事なものがあつたことを認識し、勝利至上主義に陥らないようにしましょう

2. 加害者も、被害者も不幸になります

「暴力・パワハラ・セクハラ」は、被害者だけでなく、加害者にとつても不幸をもたらすことを自覚し、思わず手が出そうになったり、暴言を吐きそうになったときには、自分を抑える忍耐力、コントロールする能力を持ちましょう。他者を支配できると思つてはいけません

3. プレーヤーの自発性を引き出すコーチング

プレーヤーの気づきを促して、自ら考え、工夫することを通して成長へと導いていく指導を基本としましょう

4. 学び続ける姿勢を持つ

コーチングに関する最新の情報を手に入れ、プレーヤーに新しい技術や知識などを的確にアドバイスできるよう、指導者自らが常に学び続ける姿勢を持ちましょう



実践! グッドコーチング
～暴力・パワハラのないスポーツ指導を目指して～
PHP 研究所

柔道 MIND 活動のねらいを、今一度考えてみましょう

相手への尊敬、信頼を示すものが礼法であり、他人に依存していることを自覚するのが真の「自立」です。それにより相手への感謝、尊敬の念が生じ「礼節」となります。さらに、「M 礼節」と「I 自立」の相互作用により正々堂々とした「N 高潔」さが示され、自ずと信頼が寄せられるようになり「D 品格」が完成されます。木を成長させていくことで、この相乗成長する過程をデザインして、柔道 MIND をわかりやすく表現いたしました。



嘉納治五郎師範は、「世の中の為に有為な人間を育成する教育理念」を最も重視しました。師範は、柔道を学ぶ者が到達すべき最高の目標として、

「精力善用」(善を目的に心身の力を最も有効に使用すること)

「自他共栄」(自分と他人との調和をはかり、お互いが繁栄して行くようにすること)

という言葉を残されました。この2つの言葉の意味をしっかりと理解するとともに、日々鍛錬し技を磨く中で、心の修養に努め、「自己を完成し、世の中の役に立つ人になる」という究極の目的に向かって努力して行くことが最も大切なことです。柔道修行は、人として正しく成長する為には有用であるばかりでなく、望ましい社会を作り出すことにも大きく貢献できる要素を持っています。

